

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-32478

(P2002-32478A)

(43) 公開日 平成14年1月31日 (2002.1.31)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	ターム(参考)
G 0 6 F 17/60	1 2 6	G 0 6 F 17/60	1 2 6 K 5 B 0 7 5
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F
	1 7 0		1 7 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 36 頁)

(21) 出願番号 特願2000-219470(P2000-219470)

(22) 出願日 平成12年7月19日 (2000.7.19)

(71) 出願人 000000376

オリンパス光学工業株式会社

東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号

(72) 発明者 中土 一孝

東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オリ  
ンパス光学工業株式会社内

(72) 発明者 高村 幸治

東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オリ  
ンパス光学工業株式会社内

(74) 代理人 100076233

弁理士 伊藤 進

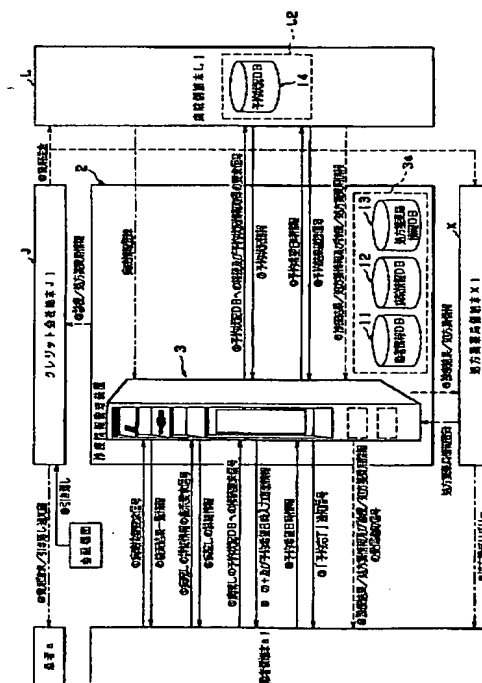
Fターム(参考) 5B075 KK07 ND20 UU27

(54) 【発明の名称】 診療情報管理装置

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 複雑なシステムを構築することなく、病院間での情報の共有化、患者の過去の病歴を簡単に把握することができる診療情報管理装置を提供する。

【解決手段】 医師が病院側端末1から診療情報管理装置2のホストコンピュータ2にアクセスし、患者aの患者用USER IDを入力すると、ホストコンピュータ2では、病院側端末1から送信された患者aの患者用USER IDに基づき患者情報データベース11を検索し、登録されている患者aの「診療結果/処方箋情報」を読み込み、病院側端末1に表示する。医師はこの表示内容により患者aの過去の病歴を把握する。又、患者aを診察した後は、ホストコンピュータ2に対し、患者aの「診療結果/処方箋登録」の要求を行うことで、患者情報データベース11に格納されている「診療結果/処方箋情報」に、今回の診察結果情報、処方箋情報を登録する。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】患者固有の診療情報を複数記憶可能な患者固有情報記憶手段と、

前記患者固有情報記憶手段に記憶された前記診療情報から特定の患者に対する診療情報を検索する検索情報を入力可能な第1の検索情報入力手段と、

前記第1の検索情報入力手段から入力された前記検索情報に基づき前記患者固有情報記憶手段を検索して特定された前記診療情報を取得可能な第1の検索結果情報取得手段と、

前記第1の検索結果情報取得手段で取得された前記診療情報に対する編集が可能な第1の編集手段と、

前記第1の編集手段で編集された前記診療情報を前記患者固有情報記憶手段に記憶可能な第1の編集情報記憶手段と、

前記患者固有情報記憶手段に記憶された前記診療情報から特定の前記患者に対する前記診療情報を検索する検索情報を入力可能な第2の検索情報入力手段と、

前記第2の検索情報記憶手段から入力された前記検索情報に基づき前記患者固有情報記憶手段を検索して特定された前記診療情報を取得可能な第2の検索結果情報取得手段と、

前記第2の検索結果情報取得手段で取得された前記診療情報に対する編集が可能な第2の編集手段と、

前記第2の編集手段で編集された前記診療情報を前記患者固有情報記憶手段に記憶可能な第2の編集情報記憶手段と、を具備したことを特徴とする診療情報管理装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、患者の診療情報を一括管理する診療情報管理装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、診療機関である病院で行われた患者の診療検査の結果や投薬の処方箋などの診療情報が記載されたカルテの保管は、各病院毎に保管されていることは広く知られている。

【0003】又、近年、医療分野においては、インフォームドコンセントや医学的根拠に基づく医療（EBM：Evidence Based Medicine）への意識が高まっており、患者への診療情報の開示の必要性、並びに、1患者に対する病院間の情報の共有化や過去の病歴の適切な把握が求められている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、各病院が診療情報を個々に管理しては、このようなニーズに応えるには、患者にとっても病院にとっても非常に煩わしい手続きを要することになる。

【0005】すなわち、引っ越しなどの理由により、患者のかかりつけの病院が代わってしまった場合、新たに  
50 出向いた病院で再度同じ診察を受けなければならない

2

る。その結果、診療期間および費用が余分に掛かってしまい、患者への精神的、経済的負担への影響も問題となる。

【0006】また、同じ病院であっても、総合病院などの大きな病院では診療科が代わった場合、新たな診療科でカルテなどに記載されている診療情報を必要とする際には、一々カルテを他の診療科から取り寄せなければならず、取り寄せた後は、そのカルテを返却する必要がある、多大なる手間が掛かるばかりでなく、その分、患者の待ち時間が長時間化してしまう不都合がある。

【0007】本発明は、上記事情に鑑み、病院内若しくは病院間において複雑なシステムを構築することなく、病院間での情報の共有化、患者の過去の病歴を簡単に把握することの可能な診療情報管理装置を提供することを目的とする。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため本発明は、患者固有の診療情報を複数記憶可能な患者固有情報記憶手段と、前記患者固有情報記憶手段に記憶された前記診療情報から特定の患者に対する診療情報を検索する検索情報を入力可能な第1の検索情報入力手段

と、前記第1の検索情報入力手段から入力された前記検索情報に基づき前記患者固有情報記憶手段を検索して特定された前記診療情報を取得可能な第1の検索結果情報取得手段と、前記第1の検索結果情報取得手段で取得された前記診療情報に対する編集が可能な第1の編集手段と、前記第1の編集手段で編集された前記診療情報を前記患者固有情報記憶手段に記憶可能な第1の編集情報記憶手段と、前記患者固有情報記憶手段に記憶された前記診療情報から特定の前記患者に対する前記診療情報を検索する検索情報を入力可能な第2の検索情報入力手段と、前記第2の検索情報記憶手段から入力された前記検索情報に基づき前記患者固有情報記憶手段を検索して特定された前記診療情報を取得可能な第2の検索結果情報取得手段と、前記第2の検索結果情報取得手段で取得された前記診療情報に対する編集が可能な第2の編集手段と、前記第2の編集手段で編集された前記診療情報を前記患者固有情報記憶手段に記憶可能な第2の編集情報記憶手段とを具備したことを特徴とする。

【0009】このような構成では、第1の検索情報入力手段にて、患者固有情報記憶手段に複数記憶されている患者固有の診療情報から特定の患者に対する診療情報を検索する検索情報を入力すると、第1の検索結果情報取得手段では、入力された前記検索情報に基づき患者固有情報記憶手段を検索して特定された診療情報を取得する。そして、第1の編集手段にて、第1の検索結果情報取得手段で取得した診療情報に対する編集を行い、第1の編集情報記憶手段にて、編集された診療情報を患者固有情報記憶手段に記憶する。その後、第2の検索情報入力手段にて、患者固有情報記憶手段に記憶された診療情

報から特定の前記患者に対する診療情報を検索する検索情報を入力し、第2の検索結果情報取得手段にて、第2の検索情報記憶手段から入力された検索情報に基づき患者固有情報記憶手段を検索して特定された診療情報を取得可能とする。次いで、第2の編集手段にて、第2の検索結果情報取得手段で取得した診療情報に対する編集を行い、第2の編集情報記憶手段にて、第2の編集手段で編集された診療情報を患者固有情報記憶手段に記憶させる。

#### 【0010】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づいて本発明の一実施の形態を説明する。図1～図31に本発明の第1実施の形態を示す。図1には診療情報管理システムの構成図が示されている。尚、以下の説明では、便宜的に、患者数、病院数をそれぞれ3、処方箋薬局数を2として説明するが、当然これ以上であっても何ら問題はない。

【0011】同図に示すように、患者a、b、cの自宅等に設置されている、パーソナルコンピュータ等の患者側端末a1、b1、c1と、診療情報管理装置2に設置されているホストコンピュータ3とが、インターネット等、外部に開放されている通信回線4を介して接続されている。更に、このホストコンピュータ3が、閉鎖された専用通信回線5を介して、予め登録されている特定病院L、M、N、及び、特定処方箋薬局X、Yに各々設置されているパーソナルコンピュータ等の病院側端末L1、M1、N1、処方箋薬局側端末X1、Y1に接続されている。

【0012】ホストコンピュータ3の記憶手段3aには、登録された患者の個人情報を含む患者情報データベース11、登録された病院毎の情報を備える病院情報データベース12、登録された各処方箋薬局情報を備える処方箋薬局情報データベース13が格納されている。尚、この診療情報管理装置2は、各病院L、M、Nの代表に設置しても、それ以外の専用の場所に設置するようにしても良い。

【0013】図3に示すように、患者情報データベース11は、登録された患者a、b、cの情報がディレクトリ構造で格納されている。すなわち、最上位に各患者a、b、c毎の患者ディレクトリDa、Db、Dcが作成されており、この患者ディレクトリDa、Db、Dcの領域に、各患者の個人情報が格納される。各患者ディレクトリDa、Db、Dcの構造は同一であるため、以下の説明では、その代表として、患者aのディレクトリ構造についてのみ説明する。

【0014】患者ディレクトリDaには、診療情報管理装置2側で発行する患者aのUSER IDやPASSWORD(図18参照)等のように管理者側が患者を特定するのに必要な個人情報ファイル111と特定の病院間で保険証のコピーとして取り扱うことのできるメンバー登録情報ファイル112とが格納されると共に、病院側が登録するこ

とのできる病院情報ディレクトリDhが作成される。

【0015】診療情報ディレクトリDhには、患者aが予約し、或いは実際に診察を受けた病院の病院ディレクトリDl、Dm、Dnが作成され、この各病院ディレクトリDl、Dm、Dnの領域に、診療予約情報ディレクトリDap、診療結果/処方箋情報ディレクトリDme、診療/処方箋費用情報ディレクトリDexが作成されている。

【0016】診療予約情報ディレクトリDapには、患者aが過去に予約した日付データ(日付1、日付2、日付3…)を記録する予約日付記録ファイル113が格納されており、又、診療結果/処方箋情報ディレクトリDmeには、実際に診療を受けたときの診療結果、処方箋の内容(カルテ1、カルテ2…)を記録したカルテファイル114が格納される。更に、診療/処方箋費用情報ディレクトリDexには、診療を受けたときの費用明細(費用明細1、費用明細2…)を記録した表明細ファイル115が格納される。

【0017】又、図4に示すように、病院情報データベース12には、登録されている特定病院L、M、Nの病院ディレクトリDl、Dm、Dnが作成されており、各病院ディレクトリDl、Dm、Dnの領域に、各病院L、M、Nが各々登録した病院の所在、診療科等、各病院L、M、Nの病院情報が登録される登録情報ファイル116l、116m、116nが作成される。この各登録情報ファイル116l、116m、116nは、各病院が作成するもので、例えば、病院の所在地、電話番号、診療科、診療時間、最寄り駅から病院までの地図、及び1日の診療時間内での混雑状況の統計表等を示すデータを登録することができる。

【0018】混雑状況の統計表を登録しておくことで、病院への来院時間を決定する際の参考とすることができる。尚、この場合、ある一定期間の平均値を登録するようにしても良く、病院側から病院情報データベース12への定期的なアクセスにより、混雑状況をほぼリアルタイムに更新するようにしても良い。

【0019】又、この登録情報ファイル116l、116m、116nには、例えば美容整形手術等、不透明になりがちな費用を予め登録しておくことも可能である。これにより、患者にとっては、費用との兼ね合いで断念していた治療や手術を受けるか否かの判断の参考とすることができる。尚、この病院情報は、これら以外に、例えば病院の施設、設備状況、医師の専攻、所属学会等のプロフィール、並びに患者の来院報告や病院の評価等を登録するようにしてもよく、患者による報告や評価の登録の代わりに診療情報管理装置2の管理者側で情報を収集し、各病院の早期癌発見率等を登録するようにしてもよい。更に、この病院情報を、病院周辺地図を公開する一般のサイトや、最寄りの交通機関のサイトとリンク可能とすることで、来院する患者に対し、詳細位置や交通

機関の時刻表等を提供することも可能となる。

【0020】そして、病院情報データベース12に格納された登録情報ファイル116l, 116m, 116nは、患者がアクセスすることで、例えば、図25に示すように、各患者側端末のモニタに、その情報の内容を表示させることができる。

【0021】更に、図5に示すように、処方箋薬局情報データベース13には、登録されている特定処方箋薬局X, Yの処方箋薬局ディレクトリDx, Dyが作成されており、各処方箋薬局ディレクトリDx, Dyの領域に、各処方箋薬局X, Yが各々登録した処方箋薬局の所在、電話番号等を登録する登録情報ファイル117x, 117yが格納されている。

【0022】又、各病院L, M, Nに設置されている病院側端末L1, M1, N1の記憶手段L2, M2, N2には、診療の予約状況を示す予約状況データベース14が備えられている。各予約状況データベース14には、例えば、図6に示すように、診療科毎の予約日時ディレクトリDd1, Dd2, Dd3…が日時毎に作成されており、各予約日時ディレクトリDd1, Dd2, Dd3に、予約を申し込んだ患者a, b, cの個人情報ファイル118a, 118b, 118cが登録される。

【0023】次に、図2の模式図を参照しながら、診療情報管理システムにおける手続きの流れについて概略的に説明する。尚、診療情報管理装置2のホストコンピュータ3の記憶手段3aに設けられている病院情報データベース12、処方箋薬局情報データベース13には、各病院側、各処方箋薬局側が登録した病院情報、処方箋薬局情報が予め登録されている。

【0024】先ず、患者aが病院を検索する場合、患者側端末a1から診療情報管理装置2のホストコンピュータ3に対して病院検索要求信号を送信する((1))。この病院検索要求は、患者側端末a1から病院名、或いは診療を受けようとする診療科、所在地等の内の1つ或いは複数のキーワードを入力することで、それらの情報が病院検索要求信号として送信される。

【0025】ホストコンピュータ3は、患者側端末a1から送信された病院検索要求信号を受信すると、病院情報データベース12を検索し、キーワード等の病院検索要求に合致する病院があるかどうかを調べ、キーワード等でヒットした病院の一覧情報を、検索結果一覧情報として患者側端末a1へ送信する((2))。

【0026】患者aは、モニタ等に表示された検索結果一覧を確認して、自宅から一番近い病院等、患者の希望に合致した病院を選択する。ここで、患者aが例えば病院Lを選択する場合は、患者側端末a1からホストコンピュータ3に対して、病院Lの詳細情報の表示を要求する表示要求信号を送信する((3))。

【0027】すると、ホストコンピュータ3では、病院情報データベース12に格納されている病院Lの詳細情

報を読み込み、患者側端末a1に対し、病院Lの詳細情報を送信する((4))。

【0028】患者aは、患者側端末a1に表示された病院Lの詳細情報の内容を確認し、病院Lに対して診察予約を行いたい場合は、ホストコンピュータ3に対し、病院Lの予約状況データベースへの接続要求信号を送信する((5))。

【0029】ホストコンピュータ3では、患者側端末a1からの接続要求信号に基づき、病院Lに設置されている病院側端末L1に対し、予約状況データベース4への接続及び予約状況情報取得の要求信号を送信する((6))。

【0030】病院側端末L1では、ホストコンピュータ3からの要求信号を受けて、記憶手段L2内の予約状況データベース4に格納されている予約状況情報を読み込み、予約状況情報をホストコンピュータ3へ送信する((7))。ホストコンピュータ3では、病院側端末L1から送られてきた予約状況情報と予約希望日時入力画面情報とを患者側端末a1へ送信する((8))。

【0031】患者aは、患者側端末a1に表示された予約状況を示す画像から、自分の希望する日時の予約状況を確認し、希望に即した日時が予約可能な場合は、患者側端末a1に表示されている予約希望日時入力画面に、希望する日時を入力し、ホストコンピュータ3へ予約希望日時情報として送信する((9))。

【0032】ホストコンピュータ3では、患者側端末a1から送られてきた予約希望日時情報と病院側端末L1から送られてきた予約状況情報とを照合し、予約可能かどうかを判断し、予約可能な場合は、病院側端末L1に対して予約希望日時情報を送信する((10))。

【0033】病院側端末L1では、患者aの予約を確認すると共に、予約状況データベースに患者aの予約を登録し、ホストコンピュータ3に対して予約結果確認信号を送信する((11))。

【0034】ホストコンピュータ3では、病院側端末L1からの予約結果確認信号を受けて、患者側端末a1に「予約完了」通知信号を送信し((12))、患者aの診療予約が終了する。

【0035】そして、患者aが予約した日時に病院Lへ出向き、診察を受けた後は、会計を済ませることなく、そのまま帰宅する。

【0036】一方、患者aの診察を終了した病院Lでは、病院側端末L1を経由してホストコンピュータ3に、患者aの病状が明示されている診療結果及び処方箋の明示された情報と、診療費用及び処方箋費用の明示された情報等からなる診療データを送信する((13))。

【0037】ホストコンピュータ3では、病院側端末L1から送られてきた患者aの診療データを、患者情報データベース11に格納すると共に、患者側端末a1に診療データの受信を通知する受信通知信号を送信する((14))。

4))。患者aは、患者側端末a1に送信された上記受信通知信号に基づき、感謝情報データベース11に格納された診療データを開くことで、診療費用や診察結果の内容、及び、薬を受け取る処方箋薬局の所在を閲覧することができる。

【0038】一方、ホストコンピュータ3では、患者情報データベース11に格納されている患者aの住所に基づき、処方箋薬局情報データベース13を検索し、患者aの自宅から最も近い特定の処方箋薬局を調べる。或いは、処方箋薬局情報データベース13に登録されている処方箋薬局から患者が希望する処方箋薬局を指定することも可能で、この場合、予め患者が希望する処方箋薬局を患者aの患者情報データベース11に登録しておく。

【0039】そして、例えば、この処方箋薬局がXである場合、ホストコンピュータ3から、この処方箋薬局Xに設置されている処方箋薬局側端末X1へ、診療データに基づき患者aの住所、診療結果及び処方箋の情報を送信する((15))。

【0040】処方箋薬局Xでは、処方箋薬局側端末X1に表示された処方箋に従い、患者aの薬を調剤する。そして、この薬を、例えば、処方箋デリバリーにより患者aの自宅へ送り届ける((16))。或いは、患者aが処方箋薬局Xへ直接出向いて受け取る。

【0041】又、ホストコンピュータ3から、患者aの契約しているクレジット会社Jの端末J1に対し、医療\*

\*費及び処方箋費が明示されている診療/処方箋費用情報を送信する((17))。尚、このクレジット会社Jは、患者aが指定したもので、患者情報データベース11に予め登録されている。

【0042】クレジット会社Jでは、クレジット会社端末J1からプリントアウトされた費用請求書及び引き落とし通知書を患者a宅へ郵送する((18))。そして、契約している金融機関から医療費及び処方箋費用を引き落とす((19))。

【0043】又、このクレジット会社Jから病院L及び処方箋薬局Xに対して医療費用及び処方箋費用が各々送金される((20))。

【0044】次に、図7～図31の図面を参照しながら、診療情報管理装置2のホストコンピュータ3に対して患者と病院とが、各々アクセスする際の手続きの具体的な流れについて説明する。

【0045】ところで、ホストコンピュータ3に対するアクセス権は、患者と病院とシステム管理者との三者に有り、USER IDは、患者用USER ID、病院用USER ID、システム管理者用USER IDと各々区別して登録される。この中で、患者と病院との各データベース11～14へのアクセス権は、表1に示す通りである。

【0046】

【表1】

	患者情報DB		病院Lの 病院情報DB	病院Lの 予約状況DB
	患者aの 個人情報	患者aの 診療情報		
患者a用USER ID	◎	△	△	△
患者c用USER ID	×	×	△	△
病院L用USER ID	△	○	◎	◎
病院N用USER ID	×	×	△	×

ここで、自己の登録した情報に対し、◎：閲覧、編集、削除、登録可能、○：閲覧、追記、登録可能、△：閲覧可能、×：アクセス不可を示す。

【0047】但し、患者aが病院Lに対して診療予約を行い、患者c、病院Nは、各々患者a、病院Lとは無関係とする。この場合、病院Lで診療を受けた患者の診療情報及び病院Lの予約状況データベースは、病院Lの責任において管理することになる。又、病院Lが病院Nへ患者aを紹介する場合、患者aのUSER IDを連絡することで、病院Nも患者aの診療情報を閲覧可能となる。又、病院用USER IDは、病院毎に限らず、病院内の診療

40 科毎に情報を区分して設定しても良い。

【0048】尚、○とした中に、「追記」とあるのは、特に、病院Lが患者aを再診した場合を考慮している。再診の場合、改めて新規の「診療結果/処方箋情報」を患者情報データベース11に登録するのではなく、過去の「診療結果/処方箋情報」へ「追記」として記録することができる。又、この場合、新しく「診療結果/処方箋情報」として登録するか、過去の「診療結果/処方箋情報」へ「追記」として登録するかは、病院側で選択可能とすることもできる。

50 【0049】以下、図7～図12示すフローチャートに

従い、患者側がホストコンピュータ3にアクセスする際の手順について説明し、次いで、図13～図16に示すフローチャートに従い、病院側がホストコンピュータにアクセスする際の手順について説明する。

【0050】又、同時に、各端末に表示されるモニタ画像を、図17に示す画像の階層構造を参照しながら説明する。ここで、一重枠は特定患者のみが開くことのできる専用画面、二重枠は患者と病院との双方が開くことのできる共通画面、角の丸められている枠は特定の病院のみが開くことのできる専用画面を示す。更に、図18～図31に、モニタに表示される画像の代表例を示す。

【0051】先ず、患者が病院の診療予約を行う手順について説明する。患者が、診療情報管理システムを利用しようとする場合、最初に診療情報管理装置2に対し登録手続きを行う必要がある。以下においては、便宜的に患者の代表を患者aとし、この患者aが診療予約を行う場合について説明する。

【0052】患者aは患者側端末a1から診療情報管理装置2に設置されているホストコンピュータ3に、インターネット等の通信回線網4を経由して接続要求信号を送信する。すると、図7～図12に示す診療予約ルーチンが起動され、ステップS1で、患者側端末a1からの接続要求信号に基づき、患者側端末a1とホストコンピュータ3の回線を接続する。

【0053】次いで、ステップS2で、ログイン画面情報を患者側端末a1へ送信し、ステップS3で、患者側端末a1から送信される要求信号の受信を待つ。

【0054】ホストコンピュータ3からのログイン画面情報を受診した患者側端末a1のモニタには、初期画面である「ログイン」画面M1が表示される。図18に示すように、この「ログイン」画面M1には、USER IDを入力するウインドウ21とPASSWORDを入力するウインドウ22と、「LOGIN」ボタン23と「新規メンバー登録」ボタン24とが表示されている。

【0055】そして、患者aがポインタをマウス等の操作により新規メンバー登録ボタン24へ移動させて、このボタン24をONする。その結果、ホストコンピュータ3に対して新規メンバー登録への要求信号が送信される。

【0056】ホストコンピュータ3では、ステップS3、ステップS4で、受信した要求信号の種別を判定する。今回の要求信号が「新規メンバー登録」の要求信号であるため、ステップS4からステップS5へ進む。尚、患者aが「ログイン」画面M1が表示されている状態で、例えばキーボードの「Esc」キーを押したときは、今回のルーチンが終了され、患者側端末a1とホストコンピュータ3との回線が遮断される。

【0057】そして、ステップS5へ進むと、患者側端末a1に対しメンバー登録画面情報を送信し、ステップS6で、患者側端末a1から送信されるメンバー登録情

報信号の受信を待つ。

【0058】一方、患者側端末a1がホストコンピュータ3から送信されたメンバー登録画面情報を受信すると、患者側端末a1のモニタには、図17に示すように、「新規メンバー登録」画面M2が表示される。この「新規メンバー登録」画面は、例えば図19、図20に示すように、個人情報を入力する「新規メンバー登録(1)」画面M2'と加入保険の内容を入力する「新規メンバー登録(2)」画面M2''との二階層で構成されており、最初に表示される「新規メンバー登録(1)」画面M2'には、患者aの名前、性別、生年月日、住所、電話番号、電子メールのアドレス等、個人情報を入力する個人情報入力ウインドウ25が表示されると共に、下位階層へ移行する「次へ」ボタン26、及び「キャンセル」ボタン27が表示される。

【0059】そして、患者aが「新規メンバー登録(1)」画面M2'に表示された各ウインドウに対して必要な情報を入力し、「次へ」ボタン26をONすると、下位階層の「新規メンバー登録(2)」画面M2''が表示される。この「新規メンバー登録(2)」画面M2''には、保険の種類、被保険者番号・記号、被保険者等氏名、メンバー登録対象者と(被保険者と)の続柄、保険者名、保険者番号等、加入保険の内容を入力する保険情報入力ウインドウ28が表示されると共に、「完了」ボタン29、上位階層へ戻る「戻る」ボタン30、及び「キャンセル」ボタン31が表示される。

【0060】そして、患者aが、「新規メンバー登録(1)」画面M2'に表示された個人情報入力ウインドウ25に必要な情報を入力し、「新規メンバー登録(2)」画面M2''に表示された保険情報入力ウインドウ28に必要な情報を入力した後、「完了」ボタン29をONすると、この入力内容がメンバー登録情報信号としてホストコンピュータ3に送信される。

【0061】ホストコンピュータ3では、ステップS6において、メンバー登録情報信号の受信を確認すると、ステップS7へ進む。尚、「新規メンバー登録(1)」画面M2' 或いは「新規メンバー登録(2)」画面M2''が表示されている状態で、「キャンセル」ボタン27或いは31をONすると、ルーチンが終了され、患者側端末a1とホストコンピュータ3との回線が遮断される。

【0062】又、ステップS7へ進むと、ホストコンピュータ3では、患者aの患者用USER ID及びPASSWORDを発行し、患者側端末a1へ発行通知信号を送信し、ステップS8へ進み、患者側端末a1から送信される確認信号の受信を待つ。

【0063】一方、患者側端末a1で発行通知信号を受信すると、モニタには、患者用USER ID及びPASSWORDが表示されると共に、その下段に患者用USER ID及びPASSWORDを反復入力するウインドウが表示される(図示せ

11

ず)。そして、患者aが、このウインドウに、患者用USER ID及びPASSWORDを反復入力し、画面に表示されている確認ボタン（図示せず）をONすると、患者用USER ID及びPASSWORDを確認したことを知らせる確認信号がホストコンピュータ3へ送信される。尚、この場合、患者用USER ID及びPASSWORDを反復せず、確認ボタンをONするだけで、確認信号が送信されるようにしても良い。又、患者側端末a1から患者用USER ID及びPASSWORDをプリントアウトできるようにしても良い。

【0064】そして、ホストコンピュータ3で、患者側端末a1から送信される確認信号が受信されると、プログラムはステップS8からステップS9へ進む。又、患者用USER ID及びPASSWORDが表示されている画面に表示されているキャンセルボタンをONすると、ルーチンが終了し、患者側端末a1とホストコンピュータ3との回線が遮断される。

【0065】ステップS9へ進むと、患者情報データベース11に患者aの患者ディレクトリDaを作成し、その中に個人情報ファイル111とメンバー登録情報ファイル112とを作成し、個人情報ファイル111に患者aのUSER ID及びPASSWORDを登録し、又メンバー登録情報ファイル112に、患者aのメンバー登録情報を登録し、ステップS12へ進む。

【0066】以上で、患者aの登録が完了し、ステップS12から通常の診療予約手続きへ移行する。従って、これ以降は、通常の診療予約手続きについて説明する。

【0067】通常の診療予約手続きを行う場合、患者側端末a1からホストコンピュータ3にアクセスし、上述と同様、ステップS2で送信した、ログイン画面情報を患者側端末a1に表示させ、ステップS3で、患者側端末a1から送信される患者用USER ID/PASAWORD情報信号の受信を待つ。

【0068】一方、患者側端末a1のモニタには、「ログイン」画面M1が表示され、患者aは、この「ログイン」画面M1に表示されているUSER IDを入力するウインドウ21とPASSWORDを入力するウインドウ22とに、予め決められたUSER ID及びPASSWORDを入力し、「LOGIN」ボタン23をONする。

【0069】すると、患者側端末a1からホストコンピュータ3に対して、患者用USER ID/PASAWORD情報信号が送信され、ホストコンピュータ3で、この情報信号を受信すると、ステップS3からステップS10へ進み、ホストコンピュータ3の患者情報データベース11の蓄積情報と照合する。

【0070】そして、ステップS11へ進み、受信した患者用USER ID/PASAWORDが、患者情報データベース11に登録されているか否かを判断し、登録されていないときは、ステップS3へ戻り、新たな患者用USER ID/PASAWORD情報信号が受信されるまで、待機する。尚、この場合、患者側端末a1のモニタには、「ログイン」画面M

12

1が表示されたままの状態であり、この「ログイン」画面M1上に入力エラーである旨を示すメッセージを表示させるようにしても良い。

【0071】一方、患者aの入力した患者用USER ID/PASAWORDが、患者情報データベース11に登録されている場合は、ステップS12へ進み、診療情報管理システムの「メインメニュー」画面情報を送信する。

【0072】すると、患者側端末a1のモニタには、例えば図21に示すような「メインメニュー」画面M3が表示される。この「メインメニュー」画面M3には、病院検索データベース、病院予約データベース、患者情報データベースの下位階層へ移行する3項目の選択メニュー、及び「LOG OUT」ボタン32が表示されており、ホストコンピュータ3では、ステップS13～S15で、患者aが何れのメニューが選択されたかを示す要求信号の受信を待つ。

【0073】ここで、病院検索データベースは、患者aがキーワード入力により希望する病院を検索するメニュー、病院予約データベースは患者aが診療を希望する病院を予め決めている場合に、当該病院の端末に直接アクセスして診療予約を行うメニュー、患者情報データベースはホストコンピュータ3の患者情報データベース11にアクセスし、自己の過去の診察歴等、患者情報データベース11に登録されている自己の情報を閲覧するメニューである。

【0074】又、患者aが「LOG OUT」ボタン32をONすれば、ホストコンピュータ3からログアウト画面情報が患者側端末a1へ送信され、患者側端末a1のモニタに、「LOG OUT」画面M4が表示され（図17参照）、患者側端末a1とホストコンピュータ3との回線が遮断される。

【0075】そして、患者aが患者側端末a1のモニタに表示されているメニューから、例えば病院検索データベースを選択すべく、この「病院検索データベース」の表示位置にポインタを移動させてONすると、ホストコンピュータ3へ「病院検索データベース」への要求信号が送信される。尚、病院予約データベース、或いは患者情報データベースを選択した場合の流れについては、後述する。

【0076】ホストコンピュータ3で、患者側端末a1から送信された「病院検索データベース」への要求信号を受信すると、プログラムは、ステップS13からS16へ進み、病院情報データベース12に接続し、続くステップS17で、患者側端末a1へ「病院検索キーワード」入力画面情報を送信し、ステップS18へ進み、患者側端末a1から送信される要求信号の受信を待つ。

【0077】すると、患者側端末a1には、図22に示すような、「病院検索キーワード」入力画面M5が表示される。この「病院検索キーワード」入力画面M5には、検索項目として、病院名検索、診療科目検索、所作

13

位置検索の3項目を入力するウインドウ35と、「実行」ボタン36、「戻る」ボタン37、「メインメニューへ」ボタン38が表示される。

【0078】そして、患者a1が、これらの入力項目の内、少なくとも1つ以上の項目を選択して、検索のためのキーワードを入力した後、「実行」ボタン36をONすると、ホストコンピュータ3へ検索キーワード及び検索の要求信号が送信される。

【0079】そして、これを受信したホストコンピュータ3では、ステップS19へ進み、受信した検索キーワードに基づき、病院情報データベース12を検索し、ステップS20で、検索キーワードに合致する病院情報が登録されているか否かを調べる。

【0080】そして、検索キーワードに合致する病院情報が登録されていないときは、ステップS17へ戻り、患者側端末a1に対し、再度「病院検索キーワード」の入力画面情報を送信する。一方、検索キーワードに合致する病院情報が登録されているときは、ステップS21へ進み、患者側端末a1へ検索結果一覧情報を送信し、患者側端末a1からの表示要求信号の送信を待つ。

【0081】患者側端末a1に検索結果一覧情報が送信されると、この患者側端末a1のモニタには、図23に示す「検索結果」表示画面M6が表示されると共に、その下位階層に、図24に示す「検索結果」リスト表示画面M7が表示可能となる。

【0082】この「検索結果」表示画面M6には、患者aの入力したキーワードを表示するウインドウ39と、「表示」ボタン40、「戻る」ボタン41、「メインメニューへ」ボタン42が表示されると共に、検索によるヒット件数が表示される。

【0083】尚、検索キーワードに合致する病院情報が登録されていなかった場合、ヒット件数を0と表示することで、ステップS20の判定ルーチンを省略することも可能であり、この場合、患者aは「戻る」ボタン41をONし、「病院検索キーワード」入力画面M5を表示させ、再度、病院検索のためのキーワードを入力する。

【0084】そして、患者aが「表示」ボタン40をONすると、その下位階層にある「検索結果」リスト表示画面M7がモニタ上に表示される。この「検索結果」リスト表示画面M7には、ヒットした病院の、病院名、所在地、電話番号、診療科目、診療時間等が表示されると共に、「戻る」ボタン44、「メインメニューへ」ボタン45が表示される。

【0085】患者aは、病院の一覧を参照して、診療を受けたい病院を特定し、特定した病院名にポインタを移動させて、ONする。すると、ホストコンピュータ3に対して、特定病院の詳細情報の表示要求信号が出力される。

【0086】ホストコンピュータ3で、患者側端末a1から送信される特定病院の詳細情報の表示要求信号を受

14

信すると、ステップS23へ進み、病院情報データベース12に蓄積されている特定病院の詳細情報を、患者側端末a1へ送信し、ステップS24へ進み、患者側端末a1からの接続要求信号の送信を待つ。

【0087】例えば、患者aが病院Lを特定病院として指定した場合、ホストコンピュータ3から患者側端末a1に対して、病院Lの詳細情報が送信される。以下の説明では、患者aが病院Lを特定し、この病院Lに対し診察予約を申し込む場合を例示して説明する。

10 【0088】患者側端末a1が特定病院の詳細情報を受信すると、モニタ上には、「病院別詳細情報」表示画面M8が表示される。例えば、患者aが病院Lの詳細情報の表示を要求した場合、図25に示すように、「病院別詳細情報」表示画面M8には、病院Lの所在地、電話番号、診療科目、診察時間に加え、最寄り駅からの地図46、及び、1日の診察時間内での混雑状況、或いは一定期間の平均的な混雑状況の統計を示すグラフ47と、「予約」ボタン48、「戻る」ボタン49、「メインメニューへ」ボタン50が表示される。

20 【0089】そして、これを確認した患者aが「予約」ボタン48をONすると、ホストコンピュータ3に対して、病院Lの予約状況データベース14への接続要求信号が送信され、これを受信したホストコンピュータ3では、ステップS27へ進む。

【0090】一方、患者aが診察予約を申し込む病院が予め特定されている場合は、病院を検索する必要はないので、「メインメニュー」画面M3（図21参照）に表示されている「病院予約データベース」の表示位置へポインタを移動させてONする。

30 【0091】すると、ホストコンピュータ3に対して「病院予約データベース」への要求信号が出力され、これを受信したホストコンピュータ3では、プログラムがステップS14からステップS25へ進み、患者側端末a1に対して「病院予約データベースメニュー」画面情報を送信する。

【0092】この「病院予約データベースメニュー」画面情報は、階層構造を有しており、この「病院予約データベースメニュー」画面情報の下位階層に「予約病院特定」画面情報と「予約変更・取消」画面情報とが備えられている。

40 【0093】そして、「病院予約データベースメニュー」画面情報を受信した患者側端末a1のモニタに表示された「病院予約データベースメニュー」画面M9（図17参照）には、下位階層へ移行する為の「予約病院特定」と「予約変更・取消」の2項目が表示されており、患者aは何れかの項目を選択する。

50 【0094】ここで、患者aが「予約病院特定」項目を選択すると、次の「予約病院特定」画面M10が表示される。この「予約病院特定」画面M10は、例えば図26に示すように、病院名、及び診療科目を入力するウイ



ンドウ51、及び「実行」ボタン52、「戻る」ボタン53、「メインメニューへ」ボタン54が表示される。

【0095】そして、病院名、及び診療科目を入力するウインドウ51に、診療を希望する特定の病院名（例えば病院L）と診療科とを入力し、「実行」ボタン52をONすると、ホストコンピュータ3に対して、特定病院Lの予約状況データベース14に対する接続要求信号が送信され、これを受信したホストコンピュータ3では、ステップS26からステップS27へジャンプする。

【0096】そして、ステップS24或いはS26からステップS27へ進むと、病院Lに設置されている病院側端末L1の記憶手段L2に備えられている予約状況データベース14に回線を接続する。次いで、ステップS28へ進み、病院側端末L1の予約状況データベース14から予約状況情報を受信し、ステップS29で、患者側端末a1へ予約希望日時入力画面情報と共に、病院Lの予約状況情報を送信する。又、同時に、この予約状況情報をホストコンピュータ3内の記憶手段に一時格納しておく。

【0097】そして、ステップS30へ進み、患者側端末a1からの予約希望日時情報の送信を待つ。

【0098】患者側端末a1で、予約希望日時入力画面情報と病院Lの予約状況情報とを受信されると、モニタに「新規予約」画面M11が表示される。図27に示すように、この「新規予約」画面M11には、病院が予約を受け付ける日時の予約状況を示すウインドウ55と、その下段に予約日時を入力するウインドウ56、及び「送信」ボタン57、「戻る」ボタン58、「メインメニューへ」ボタン59が表示される。

【0099】そして、患者aが予約状況を示すウインドウ55を参照して、予約希望日時（例えば、7月6日13:00~14:00）を予約希望日時入力ウインドウ56に入力して、「送信」ボタン57をONすると、ホストコンピュータ3へ予約希望日時情報が送信され、これを受信したホストコンピュータ3では、ステップS31へ進み、受信した予約希望日時と、一時的に記憶されている病院Lの予約状況情報とを照合する。そして、ステップS32へ進み、予約希望日時は予約が可能かどうか判断し、予約が「満」のときは、ステップS30へ戻り、患者側端末a1から送信される新たな予約希望日時情報の受信を待つ。

【0100】一方、予約が「空」のときは、ステップS33へ進み、病院Lの病院側端末L1へ予約希望日時情報を送信し、ステップS34で、病院側端末L1から送信される予約結果確認信号の受信を待つ。

【0101】病院側端末L1では、ホストコンピュータ3から送信された予約希望日時情報に基づき、予約状況データベース14の該当する予約日時ディレクトリDd1、Dd2、Dd3…に作成されている個人情報ファイル118aに患者aの予約日時を登録し、或いは患者a

が初診であれば、この患者aの個人情報ファイル118aを新たに作成し、その領域に、予約日時を登録する。その後、ホストコンピュータ3に対し、予約結果確認信号を送信する。

【0102】ホストコンピュータ3で予約結果確認信号を受信すると、ステップS35へ進み、病院側端末L1の予約状況データベース14との接続を遮断する。次いで、ステップS36へ進み、患者情報データベース11内に患者aの患者ディレクトリDaが作成されているか否かを調べ、既に作成されている場合は、ステップS38へジャンプし、又、患者ディレクトリDaが作成されていない場合は、ステップS37へ分岐する。

【0103】そして、ステップS37で、予約状況データベース14に患者aの患者ディレクトリDaを作成し、その領域に患者aのUSER ID及びPASSWORDを登録する個人情報ファイル111と、患者aのメンバー登録情報を登録するメンバー登録情報ファイル112と、病院情報ディレクトリDhを作成し、更に、病院情報ディレクトリDhの領域に、診療予約情報ディレクトリDap、診療結果／処方箋情報ディレクトリDme、診療／処方箋費用情報ディレクトリDexを作成し（図3参照）、ステップS38へ進む。

【0104】ステップS38では、患者情報データベース11に作成されている患者ディレクトリDaの診療予約情報ディレクトリDapに格納されている予約日付記録ファイル113に、予約日時を登録する。

【0105】尚、患者情報データベース11内に患者の患者ディレクトリが既に作成されている場合であっても、予約の度に各種の診療情報を登録する領域を患者ディレクトリの領域に作成するようにしても良い。

【0106】その後、ステップS39へ進み、予約完了の旨の通知情報を患者側端末a1へ送信すると共に、患者側端末a1から送信される遮断要求信号に基づき、診療情報管理装置2のホストコンピュータ3と患者側端末a1とを接続する回線を遮断し、ルーチンを終了する。

【0107】患者側端末a1でホストコンピュータ3から送信される予約完了の旨の通知情報を受信すると、モニタ上に、「予約完了通知」画面M12が表示される。この「予約完了通知」画面M12には、図28に示すように、予約状況を示すウインドウ表示され、その下段に予約完了を通知するメッセージが表示されると共に、

「戻る」ボタン60、「メインメニューへ」ボタン61が表示される。患者aは、この「予約完了通知」画面M12を参照し、予約が成立したことを確認したときは、例えば「メインメニューへ」ボタン61をONすると、モニタの表示が「メインメニュー」画面M3に切換えられ、さらに「LOG OUT」ボタン32をONすることにより、患者側端末a1よりホストコンピュータ3に対して遮断要求信号が送信される。

【0108】その結果、モニタの表示は、「メインメニ

ユー」画面M3から「LOG OUT」画面M4に切換えられ、その後、患者側端末a1とホストコンピュータ3とを接続する回線が遮断される。

【0109】次に、「病院予約データベースメニュー」画面M9が表示されている状態で、「予約変更・取消」メニューを選択した場合について、簡単に説明する。

【0110】この「予約変更・取消」メニューは、患者aが一旦申し込んだ診療予約の日時を変更し、或いは取り消す場合に選択するもので、「予約変更・取消」メニューを選択すると、下位階層の「予約変更・取消」画面M13が表示される。ここで、患者aが、予約した病院名、予約日時を入力し、「実行」ボタンをONする等により、内容を確定する。

【0111】すると、予約した病院の病院側端末の予約状況データベース14にアクセスし、画面が、登録メンバーの「予約状況再編集」画面M14に切換えられる。

「予約状況再編集」画面では、現在の予約状況を示す画面が表示され、患者aは、この画面の表示を参考に、予約を変更する場合は、変更後の予約日時を入力し、取消の場合は、取消用ウィンドウをチェックし、「実行」ボタンをONする等により内容を確定する。すると、予約状況が再編集され、受け付けられた場合は、次の「予約変更完了」／「取消完了」通知画面M15が表示されて、予約の変更、或いは取消の手続きが完了する。

【0112】又、患者aが、患者側端末a1に、「メインメニュー」画面M3（図21参照）に表示されている状態で、「患者情報データベース」の表示位置へポインタを移動させてONすると、患者側端末a1から「患者情報データベース」への要求信号が送信され、この信号を受信したホストコンピュータ3では、プログラムがステップS15からステップS40へ進み、「患者情報データベース」メニュー画面情報を患者側端末a1へ送信し、ステップS41へ進み、患者側端末a1からの接続要求信号の送信を待つ。

【0113】患者側端末a1が「患者情報データベース」メニュー画面情報を受信すると、モニタには「患者情報データベースメニュー」画面M16が表示される。この「患者情報データベースメニュー」画面M16には、「メンバー登録情報」、「診療結果／処方箋情報」、「診療／処方箋費用」の3項目が表示される。

【0114】そして、患者aが、この中の何れかの項目が表示されている位置にポインタを移動させて、ONすると、ホストコンピュータ3に対し、患者情報データベース11への接続要求信号が送信される。

【0115】ホストコンピュータ3では、患者側端末a1から送信される患者情報データベース11への接続要求信号を受信すると、ステップS42へ進み、入力された患者用USER IDに基づき、患者情報データベース11に作成されている患者aの患者ディレクトリDaの領域を検索し、ステップS43で、患者aが選択した項目に

該当する患者情報の表示画面情報を患者側端末a1へ送信する。

【0116】患者側端末a1で患者情報が受信されると、モニタ上に、患者の選択した「メンバー登録情報」表示画面M17、「診療結果／処方箋情報」表示画面M20、或いは「診療／処方箋費用」表示画面M21が表示される。

【0117】尚、「メンバー登録情報」表示画面M17は、患者情報データベース11の患者aの患者ディレクトリDaに格納されているメンバー登録情報ファイル112に登録されている内容を変更、或いは取消す手続を行う画面で、患者aが、メンバー登録情報の変更、或は取消しウィンドウをチェックして、画面に表示されている「実行」ボタンをONする等して内容を確定すると、画面が下位階層の「メンバー登録情報再編集」画面M18に切換えられ、メンバー登録情報の変更、或は取消しの内容を確認し、「確認」ボタンをON等して内容を確定すると、次の「変更完了」／「取消完了」通知画面M19が表示されて、メンバー登録情報の変更、或いは取消の手続きが完了する。

【0118】そして、各画面に表示されている「終了」ボタンをONする等して内容を確定すると、ホストコンピュータ3に対して遮断要求信号が送信され、この遮断要求信号を受信したホストコンピュータ3では、ステップS44へ進み、診療情報管理装置2のホストコンピュータ3と患者側端末a1とを接続する回線を遮断し、ルーチンを終了する。

【0119】尚、図25に示されている「病院別詳細情報」表示画面M8は、病院側端末L1から逐次更新することができる。すなわち、病院側端末L1から、予め登録されている病院Lの病院用USER IDを入力し、「病院別詳細情報」表示画面M8を編集する「詳細情報編集」画面M22を呼出し、内容を編集して登録すると、ホストコンピュータ3から「詳細情報更新完了」通知画面情報が送信され、モニタに「詳細情報更新完了」通知画面M23の表示されて、更新が完了する。

【0120】次に、病院側端末Lから患者情報データベース11にアクセスして、病院ディレクトリD1に作成されている診療結果／処方箋情報ディレクトリDmeに、診療結果、及び処方箋情報を入力する手順について説明する。

【0121】病院Lの医師が患者aの診察中、若しくは診察を終えると、カルテ記入の代わりに、診療情報管理装置2のホストコンピュータ3へアクセスし、患者aの診療結果／処方箋情報等を、インターネット等外部の通信回線網を介して、外部からアクセス可能な患者情報データベース11に登録する。これにより、この診療結果／処方箋情報登録の記録が、言わば電子カルテとして機能する。よって、患者が、医師に病状の詳細を確認し忘れたり、薬の服用の仕方を忘れた場合であっても、患者

情報データベース11の記録を閲覧することで、容易に情報を得ることができる。又、患者情報データベース11には、過去の診療結果/処方箋情報も記録されているので、患者自身が自己の体調の診断に役立てることも可能となる。

【0122】以下、図13、図14に示すフローチャートに従い、診療結果/処方箋情報を登録する手順を説明する。

【0123】病院Lの病院側端末L1からホストコンピュータ3にアクセスすると、先ず、モニタ上に、図18に示すような、「ログイン」画面M1が表示され、USER IDを入力するウインドウ21に病院用USER IDを入力し、PASSWORDを入力するウインドウ22に、担当医師のPASSWORDを入力するなど、予め登録されている病院用USER ID、及びPASSWORDを入力する。

【0124】すると、この病院用USER ID、及びPASSWORDがホストコンピュータ3に対し、接続要求信号として送信され、ホストコンピュータ3では、ステップS51で、病院側端末L1から送信される接続要求信号に基づき、病院側端末L1とホストコンピュータ3の回線を接続し、「患者情報データベースメニュー」画面情報を送信し、ステップS52へ進み、病院側端末L1と患者情報データベース11との回線を接続する。

【0125】そして、ステップS53で、病院側端末L1から送信される「診療結果/処方箋登録」への接続要求信号の受信を待つ。

【0126】一方、病院側端末L1で「患者情報データベースメニュー」画面情報を受信すると、モニタに「患者情報データベースメニュー」画面M16が表示される。この「患者情報データベースメニュー」画面M16には、患者側からのアクセスによっても表示可能な「メンバー登録情報」、「診療結果/処方箋情報」、「診療/処方箋費用」の3項目に加えて、病院側が登録する「診療結果/処方箋登録」、「診療/処方箋費用登録」の2項目が表示される。

【0127】そして、病院側端末L1で「診療結果/処方箋登録」の項目を選択すると、ホストコンピュータ3に対して、「診療結果/処方箋登録」への接続要求信号が送信され、この信号を受信したホストコンピュータ3では、ステップS54へ進み、登録対象となる患者の患者用USER IDの入力画面情報を送信し、ステップS55へ進み、病院側端末L1から送信される患者用USER ID信号の受信を待つ。

【0128】そして、病院側端末L1で患者用USER IDの入力画面情報を受信すると、モニタ上には「患者の特定」画面M24が表示される。図29に示すように「患者の特定」画面M24には、患者を特定する患者用USER IDを入力するウインドウ65と、「表示」ボタン66、「戻る」ボタン67、「メインメニューへ」ボタン68が表示され、患者用USER ID入力ウインドウ65

に、特定患者（ここでは、患者a）の患者用USER IDを入力し、「表示」ボタン66をONすると、ホストコンピュータ3に対して、特定患者（患者a）の患者用USER ID信号が送信される。

【0129】この特定患者（患者a）の患者用USER ID信号を受信したホストコンピュータ3では、ステップS56へ進み、入力された特定患者（患者a）の患者用USER IDに基づき、患者情報データベース11に作成されている各患者の患者ディレクトリDa内を検索し、ステップS57へ進み、特定患者（患者a）の患者用USER IDが登録されているか否かを調べる。

【0130】そして、登録されていない場合は、ルーチンを終了し、又、登録されている場合は、ステップS58へ進み、病院側端末L1へ患者aの「診療結果/処方箋情報登録」画面情報を送信し、ステップS59へ進み、病院側端末L1から診療結果/処方箋情報の登録要求信号が送信されるのを待つ。

【0131】尚、この場合、患者を特定する識別手段として、患者用USER IDを用いず、診療情報管理装置2の管理者側と病院Lとの間で取り決めた管理番号を用いて、患者を特定するようにしても良い。

【0132】一方、ホストコンピュータ3から患者aの「診療結果/処方箋情報登録」画面情報を受信した病院側端末L1のモニタには、「診療結果/処方箋情報登録」画面M25が表示される。図30に示すように、「診療結果/処方箋情報登録」画面M25には、患者情報を表示するウインドウ70と、診療結果/処方箋情報を入力するウインドウ71と、「完了」ボタン72、「戻る」ボタン73、「メインメニューへ」ボタン74とが表示される。

【0133】そして、診療結果/処方箋情報を入力するウインドウ71に、診療結果、処方箋情報を入力し、必要な場合は、内視鏡像等の電子画像をペーストして、「完了」ボタン72をONする。

【0134】すると、病院側端末L1からホストコンピュータ3へ登録要求信号が送信され、この登録要求信号を受信したホストコンピュータ3では、ステップS60へ進み、予め、患者情報データベース11に作成されている患者aの患者ディレクトリDa内の病院ディレクトリD1に作成されている診療結果/処方箋情報ディレクトリDmeに、診療日データと共に診療結果及び処方箋情報を記憶した新たなカルテファイルを作成する。又、患者aが再診の場合は、新たなカルテファイルを作成すること無く、既に作成されているカルテファイルに必要事項を追記するようにしても良い。

【0135】その後、ステップS61へ進み、患者情報データベース11の患者ディレクトリDaに格納されているメンバー登録情報ファイル112に記録されている住所に基づき、患者側端末a1の最寄りの処方箋薬局を処方箋薬局情報データベース13内を検索し、特定す

る。或いは、患者aが予め指定した処方箋薬局を処方箋薬局情報データベース13内から検索し、特定する。

【0136】そして、ステップS62へ進み、特定した処方箋薬局（ここでは、仮に処方箋薬局Xとする）の処方箋薬局側端末X1へ処方箋情報を、患者情報データベース11内の患者aに関するメンバー登録情報ファイル112に記録されているメンバー登録情報と共に送信し、ステップS63へ進み、処方箋薬局側端末X1からの受信確認信号の受信を待つ。

【0137】そして、ホストコンピュータ3が処方箋薬局側端末X1から送信される受信確認信号を受信すると、ステップS64へ進み、病院側端末L1へ受信確認通知信号を送信し、ステップS65へ進み、患者情報データベース11の患者aの患者ディレクトリDaに作成されている病院Lの病院ディレクトリD1の診察結果／処方箋情報ディレクトリDmeに、既にステップS60で診察結果及び処方箋情報とを記憶したカルテファイルに、処方箋情報を送信した処方箋薬局の所在、連絡先情報を登録する。

【0138】そして、ステップS66へ進み、病院側端末L1に対して、登録完了通知信号を送信する。病院側端末L1で登録完了通知信号を受信すると、モニタ上に「登録完了」通知画面M26が表示され、病院Lでは、これを確認することで、患者aの診察結果等が、患者情報データベース11に登録されたことを確認し、病院Lでの患者aに関する診察結果情報、処方箋情報の登録手続きが完了する。

【0139】一方、ホストコンピュータ3では、プログラムがステップS66からステップS67へ進み、患者情報データベース11に作成されている病院Lの病院ディレクトリD1の診療／処方箋費用情報ディレクトリDexに、今回の診療／処方箋費用情報を記録した費用明細ファイルが登録されているか否かを調べる。

【0140】そして、既に登録されているときは、そのままルーチンを終了し、登録されていないときは、ステップS68へ進み、患者側端末a1に対し、システム管理者において、診療結果／処方箋情報、及び診療／処方箋費用情報を受信した旨の通知信号を送信し、ルーチンを終了する。

【0141】次に、図15、図16に示すフローチャートに従って、診療／処方箋費用登録手順を説明する。

【0142】病院Lの病院側端末L1からホストコンピュータ3にアクセスすると、まず、モニタ上に、図18に示すような、「ログイン」画面M1が表示され、USER IDを入力するウィンドウ21に病院用USER IDを入力し、PASSWORDを入力するウィンドウ22に、担当医師PASSWORDを入力するなど、予め登録されている病院用USER ID、及びPASSWORDを入力する。

【0143】すると、この病院用USER ID、及びPASSWORDがホストコンピュータ3に対し、接続要求信号として

送信され、ホストコンピュータ3では、ステップS71で、病院側端末L1から送信される接続要求信号に基づき、病院側端末L1とホストコンピュータ3の回線を接続し、「患者情報データベースメニュー」画面情報を送信し、ステップS72へ進み、病院側端末L1と患者情報データベース11との回線を接続する。

【0144】そして、ステップS73で、病院側端末L1から送信される「診療／処方箋費用登録」への接続要求信号の受信を待つ。

【0145】一方、病院側端末L1で「患者情報データベースメニュー」画面情報を受信すると、モニタに「患者情報データベースメニュー」画面M16が表示される。このメニュー中から「診療／処方箋費用登録」の項目を選択すると、ホストコンピュータ3に対して、「診療／処方箋費用登録」への接続要求信号が送信され、この信号を受信したホストコンピュータ3では、ステップS74へ進み、登録対象となる患者の患者用USER IDの入力画面情報を送信し、ステップS75へ進み、病院側端末L1から送信される特定患者（ここでは、患者a）の患者用USER ID信号の受信を待つ。

【0146】一方、病院側端末L1で患者用USER IDの入力画面情報を受信すると、モニタ上には「患者の特定」画面M27が表示される。この「患者の特定」画面M27は、図29に示す「患者の特定」画面M24と同一であるため、図29に示す「患者の特定」画面M24に付した符号を用いて入力操作を説明する。

【0147】そして、「患者の特定」画面M27に表示されている患者用USER ID入力ウィンドウ65に、特定患者（ここでは、患者a）の患者用USER IDを入力し、「表示」ボタン66をONすると、ホストコンピュータ3に対して、特定患者（患者a）の患者用USER ID信号が送信される。

【0148】この特定患者（患者a）の患者用USER ID信号を受信したホストコンピュータ3では、ステップS76へ進み、入力された特定患者（患者a）の患者用USER IDに基づき、患者情報データベース11に作成されている各患者の患者ディレクトリDa内を検索し、ステップS77へ進み、特定患者（患者a）の患者用USER IDが登録されているか否かを調べる。

【0149】そして、登録されていない場合は、ルーチンを終了し、又、登録されている場合は、ステップS78へ進み、病院側端末L1へ患者aの「診療／処方箋費用登録」画面情報を送信し、ステップS79へ進み、病院側端末L1から送信される診療／処方箋費用情報の登録要求信号の受信を待つ。

【0150】尚、この場合も、患者を特定する識別手段として、患者用USER IDを用いず、診療情報管理装置2と病院Lとの間で取り決めた管理番号を用いて、患者を特定するようにしても良い。

【0151】一方、ホストコンピュータ3から患者aの

「診察／処方箋費用登録」画面情報を受信した病院側端末L1のモニタには、「診察結果／処方箋費用登録」画面M28が表示される。図31に示すように、「診察／処方箋費用登録」画面M28には、患者情報を表示するウィンドウ75と、診察／処方箋費用を入力するウィンドウ76と、「完了」ボタン77、「戻る」ボタン78、「メインメニューへ」ボタン79とが表示される。

【0152】そして、診察／処方箋費用を入力するウィンドウ76に、診察費用及び処方箋費用を入力し、「完了」ボタン77をONする。

【0153】すると、病院側端末L1からホストコンピュータ3へ登録要求信号が送信され、この登録要求信号を受信したホストコンピュータ3では、ステップS80へ進み、予め、患者情報データベース11に作成されている患者aの患者ディレクトリDa内の病院ディレクトリD1に作成されている診察／処方箋費用情報ディレクトリDexに、診療日データと共に診察費用及び処方箋費用情報を記憶した新たな費用明細ファイルを作成する。又、患者aが再診の場合は、新たな費用明細ファイルを作成すること無く、既に作成されている費用明細ファイルに必要事項を追記するようにしても良い。

【0154】その後、ステップS81へ進み、患者情報データベース11に作成されている病院Lの病院ディレクトリD1の診療結果／処方箋情報ディレクトリDmeに、今回の診療結果／処方箋情報を記録したカルテファイルが登録されているか否かを調べる。

【0155】そして、既に登録されているときは、そのままルーチンを終了し、登録されていないときは、ステップS82へ進み、患者aが指定したクレジット会社へ、診察／処方箋費用データを、患者情報データベース11内の患者aに関するメンバー登録情報ファイル112に記録されているメンバー登録情報と共に送信し、ステップS83へ進み、クレジット会社から送信される受領確認信号の受信を待つ。

【0156】そして、クレジット会社から受領確認信号を受信すると、ステップS84へ進み、病院側端末L1に対して、受信確認通知信号を送信する。病院側端末L1で受信確認通知信号を受信すると、モニタ上に「登録完了」通知画面M29が表示され、病院Lでは、これを確認することで、患者aの診察費用及び処方箋費用情報が、患者情報データベース11に登録されたことを確認し、病院Lでの患者aに関する診察費用、処方箋費用情報の登録手続きが完了する。

【0157】一方、ホストコンピュータ3では、プログラムが85へ進み、患者側端末a1に対し、システム管理者において、診療結果／処方箋情報、及び診療／処方箋費用情報を受信した旨の通知信号を送信し、ルーチンを終了する。

【0158】又、図32、図33に本発明の第2実施の形態を示す。なお、本実施形態では、第1の実施の形態

と異なる点を詳述する。第1実施の形態では、予約状況データベース14を、病院側端末L1、M1、N1の記憶手段L2、M2、N2に設けていたが、本実施の形態では、予約状況データベース14を診療情報管理装置2のホストコンピュータ3の記憶手段3aに設けたものである。

【0159】この場合、図32に示すように、ホストコンピュータ3の記憶手段3aには、患者情報データベース11、病院情報データベース12、処方箋薬局情報データベース13に加えて、予約状況データベース14が備えられる。なお、本実施の形態の記憶手段3a内のディレクトリ構造を図33に示し、各ディレクトリ内の階層の詳細説明は割愛する。

【0160】そして、この予約状況データベース14に各病院の病院ディレクトリD1、Dm、Dnが作成され、この各病院ディレクトリD1、Dm、Dnの領域に予約日時ディレクトリDd1、Dd2、Dd3を作成し、この各予約日時ディレクトリDd1、Dd2、Dd3に予約ファイルを作成し、予約日時を登録する。

【0161】尚、この場合、予約状況データベースがホストコンピュータ3側で管理されるため、各病院は、自己が登録した情報に対してもアクセス権が制限される。表1との対比を以下に示す。

【0162】

【表2】

	ホストコンピュータ側 病院Lの 予約状況DB
患者a用USER ID	△
患者c用USER ID	△
病院L用USER ID	○
病院N用USER ID	×

【0163】又、同図に示すように、患者dが携帯電話、或いはPHS加入者である場合、患者側端末d1を携帯電話、或いはPHS等の無線電話7に接続し、この無線電話7を無線電話事業者6を経由して、通信回線網4に接続することで、ホストコンピュータ3にアクセスできるようにしても良い。

【0164】以上、説明したように、本実施の形態では、患者情報データベース11に対するアクセス権が、患者本人だけでなく、病院側にも与えられているため、患者の予約を受け付けた病院側では、その患者の過去の診療結果／処方箋情報を事前に参照することが可能とな

り、スムーズな診療行為を行うことができる。

【0165】又、緊急の場合などで、掛かりつけの病院へ出向くことができない場合であっても、当該病院にアクセス権が付与されていれば、当該病院から患者情報データベース11にアクセスすることで、過去の病状を把握することができるため、初めて患者を診察する病院であっても、患者の病歴を正確に把握することができる。

【0166】なお、上述の実施形態では、外部に開放された通信回路網4と閉鎖された専用通信回路5とを用いてシステムを構築したが、これに限定されるものではなく、診療情報管理装置を介して、患者側端末、病院側端末、処方箋薬局側端末の各々が通信可能なように回線接続されていればよい。

【0167】又、これら実施の形態では、積極的に診療情報管理装置2から患者側端末a1、b1、c1、d1への情報配信を行っていないが、特に、専用通信回線に接続された医学部や大学病院等の端末に対しては、例えば、他病院の最新ニュース/症例、医療関係のトピックス、又は医療機器のCM等を配信するようにしてもよい。

【0168】この場合、各施設間の情報交換の活性化を推奨する目的で専用通信回線内を無料で開放し、外部の通信回線からの患者の紹介（予約）に対して課金（例えば¥500/予約成立1案件）を行うようにしても良い。更に、医療器メーカーによる製品販売時のユーザー登録に基いて、医療施設に対しては無料で通信回線を開放するようにしても良い。

【0169】【付記】以上、説明したように、本実施の形態によれば以下に示す構成を得ることができる。

【0170】（1）患者固有の診療情報を複数記憶可能な患者固有情報記憶手段と、通信回線を介して、前記患者固有情報記憶手段に記憶された前記診療情報から特定の患者に対する診療情報を検索する検索情報を入力可能な第1の検索情報入力手段と、前記第1の検索情報入力手段から入力された前記検索情報に基づき前記患者固有情報記憶手段を検索して特定された前記診療情報を、前記通信回線を介して取得可能な第1の検索結果情報取得手段と、前記第1の検索結果情報取得手段で取得された前記診療情報に対する編集が可能な第1の編集手段と、前記第1の編集手段で編集された前記診療情報を、前記通信回線を介して前記患者固有情報記憶手段に記憶可能な第1の編集情報記憶手段と、前記通信回線を介して、前記患者固有情報記憶手段に記憶された前記診療情報から特定の前記患者に対する前記診療情報を検索する検索情報を入力可能な第2の検索情報入力手段と、前記第2の検索情報記憶手段から入力された前記検索情報に基づき前記患者固有情報記憶手段を検索して特定された前記診療情報を、前記通信回線を介して取得可能な第2の検索結果情報取得手段と、前記第2の検索結果情報取得手段で取得された前記診療情報に対する編集が可能な第2

の編集手段と、前記第2の編集手段で編集された前記診療情報を、前記通信回線を介して前記患者固有情報記憶手段に記憶可能な第2の編集情報記憶手段と、を具備したことを特徴とする診療情報管理システム。

【0171】（2）患者固有の診察情報を複数記憶可能な患者固有情報記憶手段から特定の患者に対する前記診察用法を検索する検索情報を入力する第1の検索情報入力行程と、前記第1の検索情報入力行程から入力された前記検索情報に基づき前記患者固有情報記憶手段を検索して特定された前記診療情報を取得する第1の検索結果情報取得行程と、前記第1の検索結果情報取得行程で取得された前記診療情報に対して編集する第1の編集行程と、前記第1の編集行程で編集された前記診療情報を前記患者固有情報記憶手段に記憶可能な第1の編集情報記憶行程と、前記患者固有情報記憶手段に記憶された前記診療情報から特定の前記患者に対する前記診療情報を検索する検索情報を入力可能な第2の検索情報入力行程と、前記第2の検索情報記憶行程で入力された前記検索情報に基づき前記患者固有情報記憶手段を検索して特定された前記診療情報を取得可能な第2の検索結果情報取得行程と、前記第2の検索結果情報取得行程で取得された前記診療情報に対する編集が可能な第2の編集行程と、前記第2の編集行程で編集された善意診療情報を前記患者固有情報記憶手段に記憶可能な第2の編集情報記憶行程と、を具備したことを特徴とする診療情報管理方法。

【0172】（3）通信回線に接続されると共に、複数の患者における各患者の固有情報を記憶する患者情報記憶手段に接続された制御手段を具備する診療情報管理装置であって、前記制御手段の制御により、前記通信回線を介して受信する前記患者の固有情報に対する検索要求に基づき、前記患者情報記憶手段に記憶された前記患者の固有情報を検索し、検索された検索結果情報を前記検索要求の発信元へ前記通信回線を介して伝達することと、前記検索要求の発信元より前記通信回線を介して受信する前記患者の固有情報に対する登録要求に基づき、前記登録要求の発信元にて編集された前記患者の固有情報を前記患者情報記憶手段に記憶すること、を特徴とする診療情報管理装置。

【0173】（4）前記制御手段は、更に、前記通信回線を介して受信する特定の患者の固有情報に対する表示要求に基づき、前記患者情報記憶手段に記憶された前記特定の患者の固有情報を前記表示要求の発信元へ前記通信回線を介して伝達すること、を特徴とする（3）記載の診療情報管理装置。

【0174】（5）前記患者情報記憶手段は、患者の診療結果情報及び処方箋情報を含む患者の固有情報を記憶すること、を特徴とする（3）記載の診療情報管理装置。

【0175】（6）前記患者情報記憶手段は、患者の診

療費用及び処方箋費用情報を含む患者の固有情報を記憶すること、を特徴とする(5)記載の診療情報管理装置。

【0176】(7)通信回線を介して病院側端末に接続されると共に、複数の患者における各患者の固有情報を記憶する患者情報記憶手段に接続された制御手段を具備する診療情報管理システムであって、前記制御手段の制御により、前記病院側端末より前記通信回線を介して受信する前記患者の固有情報に対する検索要求に基づき、前記病院情報記憶手段に記憶された前記患者の固有情報を検索し、検索された検索結果情報を前記病院側端末へ前記通信回線を介して伝達することと、前記病院側端末より前記通信回線を介して受信する特定の患者の固有情報に対する登録要求に基づき、前記病院側端末にて編集された前記患者の固有情報を前記患者情報記憶手段に記憶すること、を特徴とする診療情報管理システム。

【0177】(8)前記制御手段は、更に、前記通信回線を介して受信する特定の患者の固有情報に対する表示要求に基づき、前記患者情報記憶手段に記憶された前記特定の患者の固有情報を前記表示要求の発信元へ前記通信回線を介して伝達すること、を特徴とする(7)記載の診療情報管理システム。

【0178】(9)前記患者情報記憶手段は、患者の診療結果情報及び処方箋情報を含む患者の固有情報を記憶すること、を特徴とする(8)記載の診療情報管理システム。

【0179】(10)前記患者情報記憶手段は、患者の診療費用及び処方箋費用情報を含む患者の固有情報を記憶すること、を特徴とする(5)記載の診療情報管理システム。

【0180】(11)通信回線を介して病院側端末に接続されると共に、複数の患者における各患者の固有情報を記憶する患者情報記憶手段に接続された制御手段を具備する診療情報管理装置の制御方法であって、前記制御手段の制御により、前記病院側端末より前記通信回線を介して受信する前記患者の固有情報に対する検索要求に基づき、前記病院情報記憶手段に記憶された前記患者の固有情報を検索し、検索された検索結果情報を前記病院側端末へ前記通信回線を介して伝達する工程と、前記病院側端末より前記通信回線を介して受信する特定の患者の固有情報に対する登録要求に基づき、前記病院側端末にて編集された前記患者の固有情報を前記患者情報記憶手段に記憶する行程と、を具備することを特徴とする診療情報管理装置の制御方法。

【0181】(12)前記制御手段は、更に、前記通信回線を介して受信する特定の患者の固有情報に対する表示要求に基づき、前記患者情報記憶手段に記憶された前記特定の患者の固有情報を前記表示要求の発信元へ前記通信回線を介して伝達する行程と、を具備することを特徴とする(11)記載の診療情報管理装置の制御方法。

【0182】(13)前記患者情報記憶手段は、患者の診療結果情報及び処方箋情報を含む患者の固有情報を記憶すること、を特徴とする(11)、(12)記載の診療情報管理装置の制御方法。

【0183】(14)前記患者情報記憶手段は、患者の診療費用及び処方箋費用情報を含む患者の固有情報を記憶すること、を特徴とする(13)記載の診療情報管理装置の制御方法。

【0184】

10 【発明の効果】以上、説明したように本発明によれば、病院内若しくは病院間において複雑なシステムを構築することなく、病院間での情報の共有化、患者の過去の病歴を簡単に把握することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1実施の形態による診療情報管理システムの構成図

【図2】同、診療情報管理システムの流れを示す模式図

【図3】同、患者情報データベースのディレクトリ構造を示す説明図

20 【図4】同、病院情報データベースのディレクトリ構造を示す説明図

【図5】同、処方箋薬局情報データベースのディレクトリ構造を示す説明図

【図6】同、予約状況データベースのディレクトリ構造を示す説明図

【図7】同、患者側がホストコンピュータにアクセスする手順を示すフローチャート(その1)

【図8】同、患者側がホストコンピュータにアクセスする手順を示すフローチャート(その2)

30 【図9】同、患者側がホストコンピュータにアクセスする手順を示すフローチャート(その3)

【図10】同、患者側がホストコンピュータにアクセスする手順を示すフローチャート(その4)

【図11】同、患者側がホストコンピュータにアクセスする手順を示すフローチャート(その5)

【図12】同、患者側がホストコンピュータにアクセスする手順を示すフローチャート(その6)

【図13】同、診察結果／処方箋情報登録手順を示すフローチャート(その1)

40 【図14】同、診察結果／処方箋情報登録手順を示すフローチャート(その2)

【図15】同、診察／処方箋費用登録手順を示すフローチャート(その1)

【図16】同、診察結果／処方箋情報登録手順を示すフローチャート(その2)

【図17】同、モニタに表示される画像の階層構造を示す説明図

【図18】同、「ログイン」画面の説明図

【図19】同、「新規メンバー登録(1)」画面の説明

50 図

【図20】同、「新規メンバー登録（2）」画面の説明図

【図21】同、「メインメニュー」画面の説明図

【図22】同、「病院検索キーワード」入力画面の説明図

【図23】同、「検索結果」表示画面の説明図

【図24】同、「検索結果」リスト表示画面の説明図

【図25】同、「病院別詳細情報」表示画面の説明図

【図26】同、「予約病院特定」画面の説明図

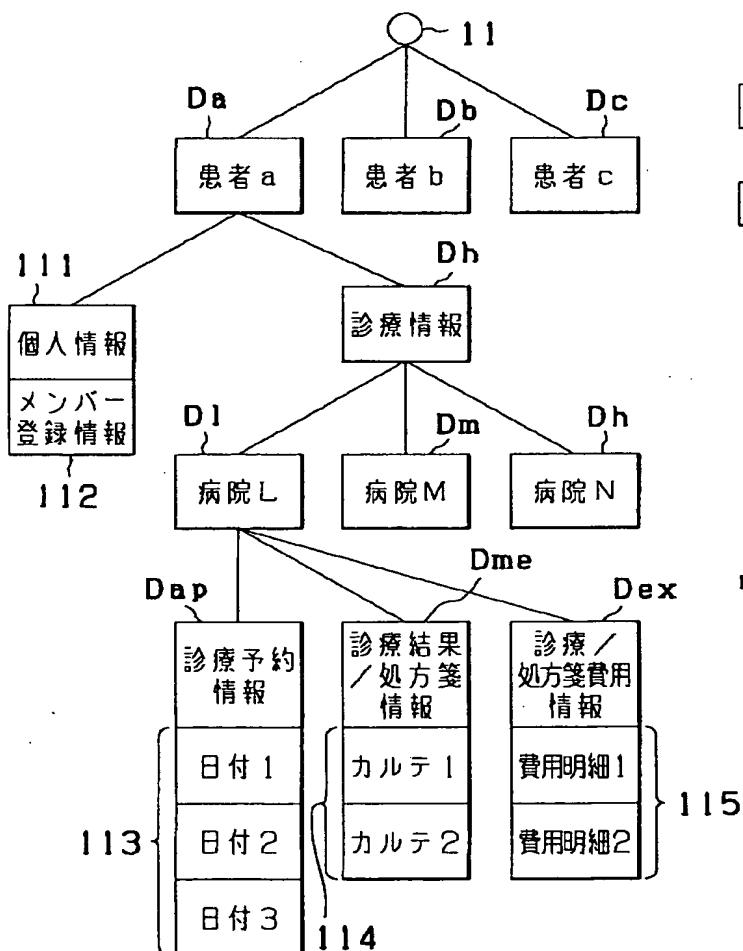
【図27】同、「新規予約」画面の説明図

【図28】同、「予約完了通知」画面の説明図

【図29】同、「患者の特定」画面の説明図

【図30】同、「診察結果／処方箋情報登録」画面の説

【図3】



明図

【図31】同、「診察／処方箋費用登録」画面の説明図

【図32】第2実施の形態による診療情報管理システムの構成図

【図33】同、ホストコンピュータの記憶手段に設けたデータベースのディレクトリ構造を示す説明図

【符号の説明】

3 ホストコンピュータ

11 患者情報データベース（患者固有情報記憶手段）

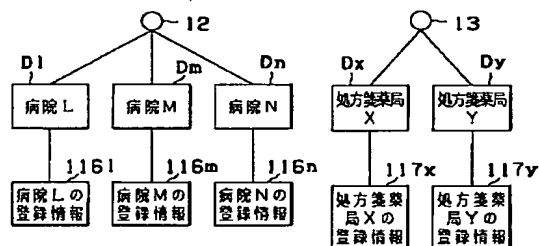
10 M25 「診察結果／処方箋情報登録」画面（検索結果情報取得手段、編集手段）

L1, M1, N1 病院側端末（検索情報入力手段）

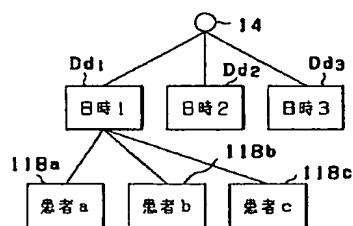
USER ID 検索情報

【図4】

【図5】

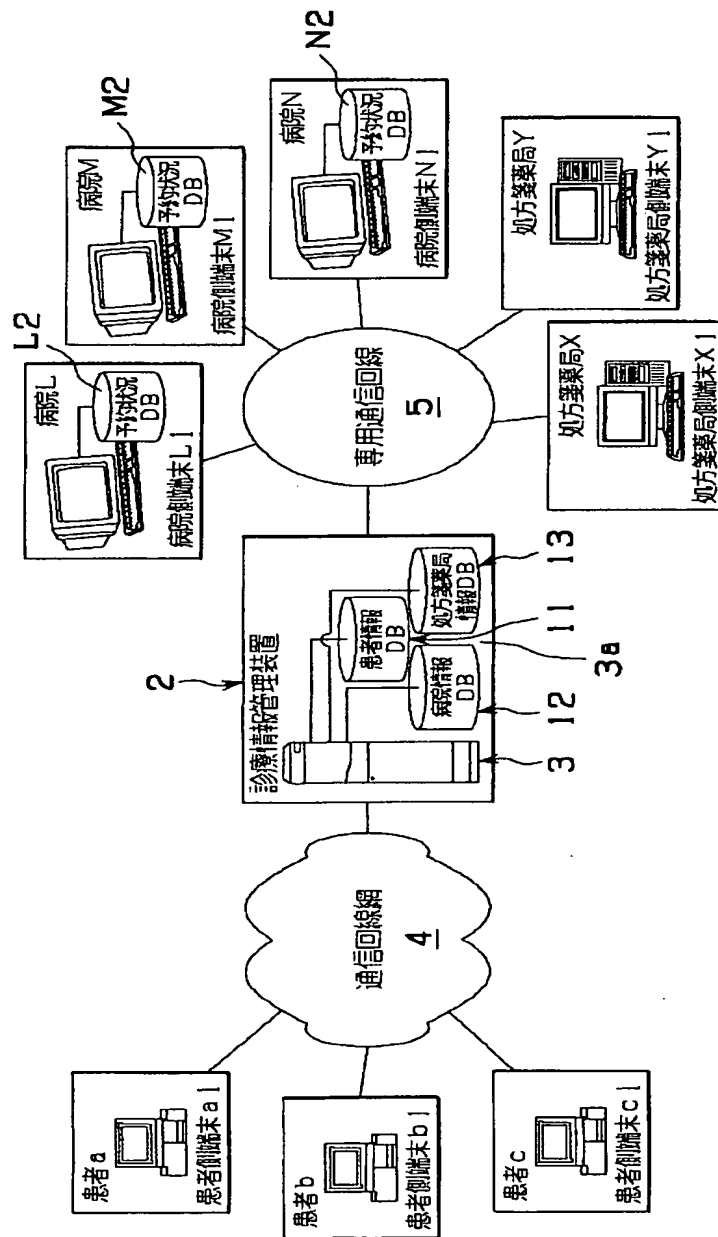


【図6】

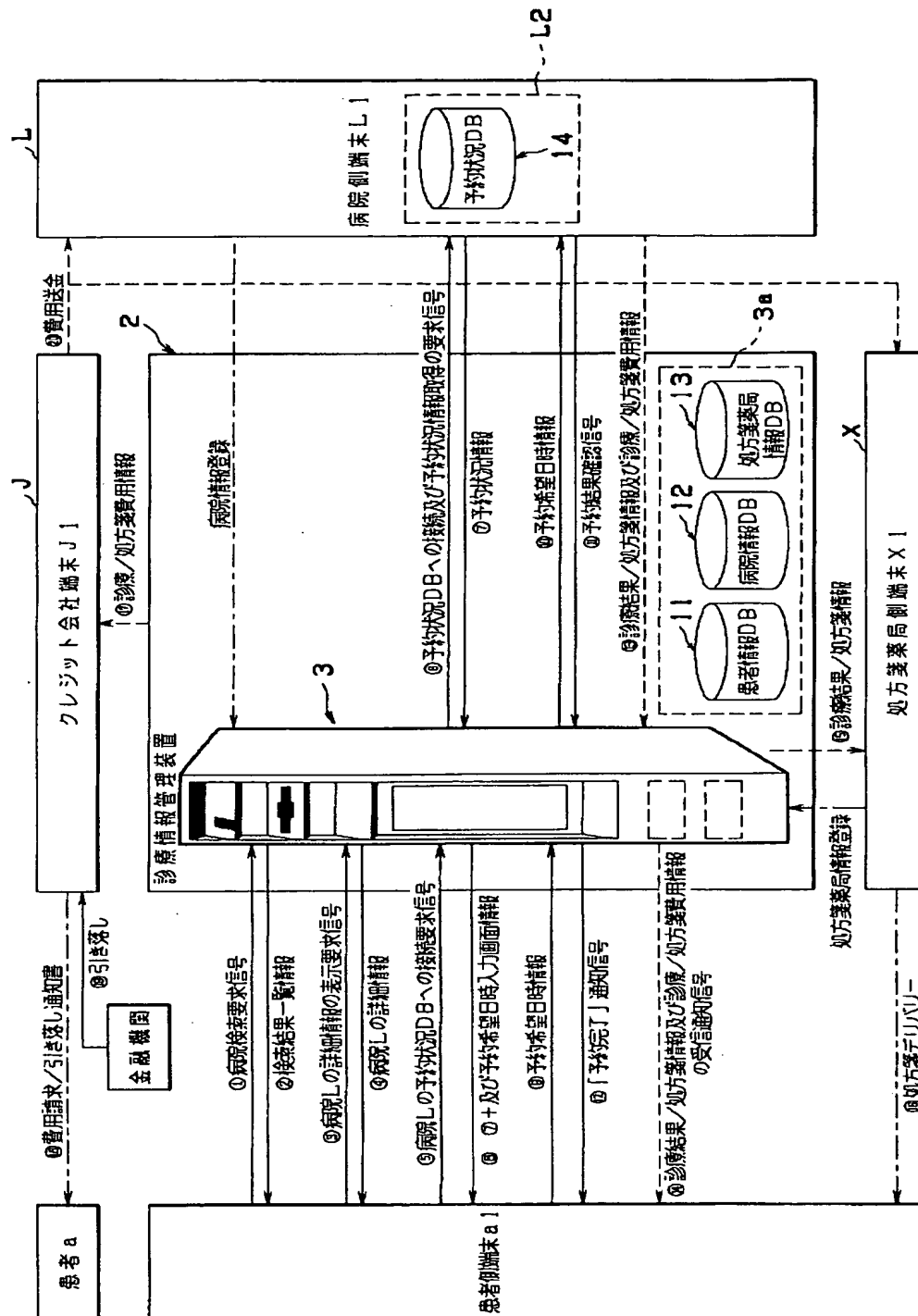




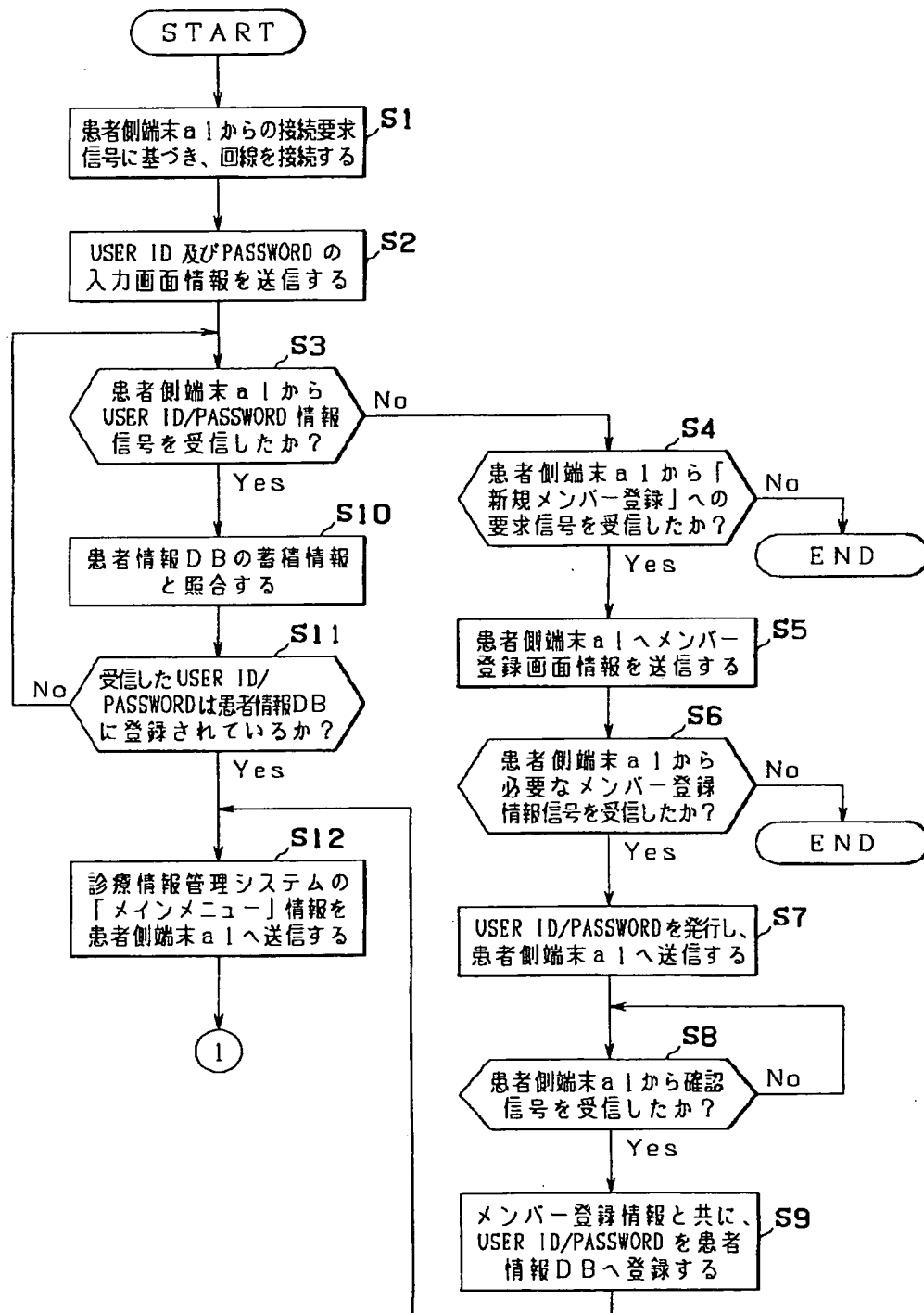
【図1】



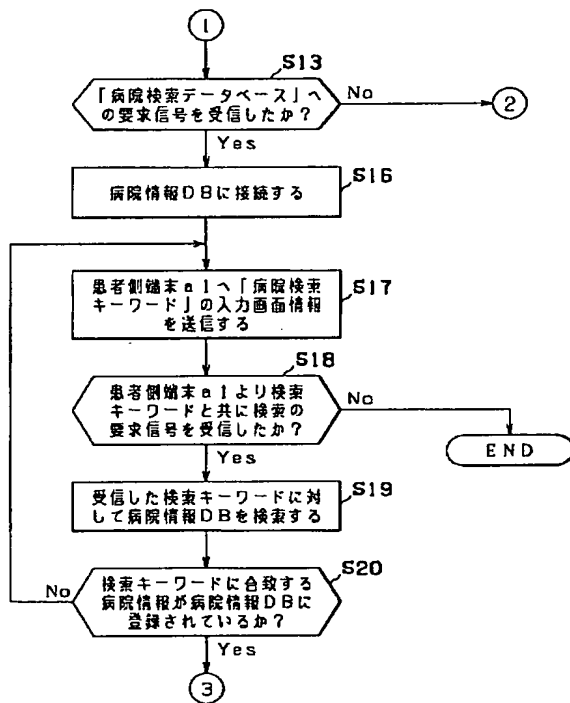
【図2】



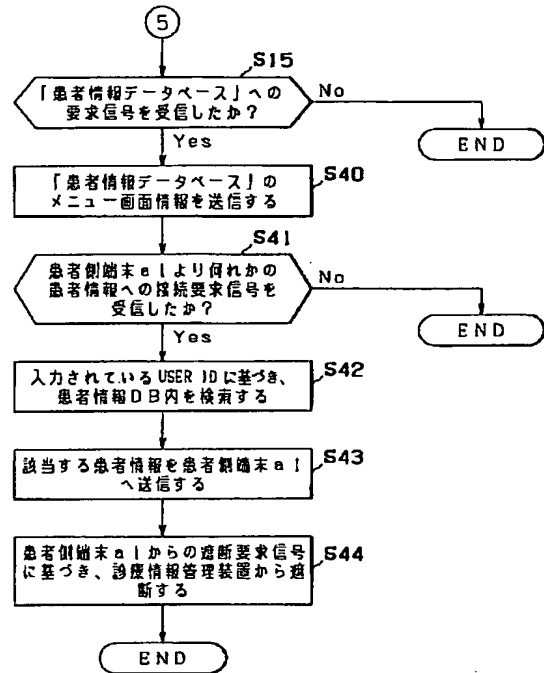
【図7】



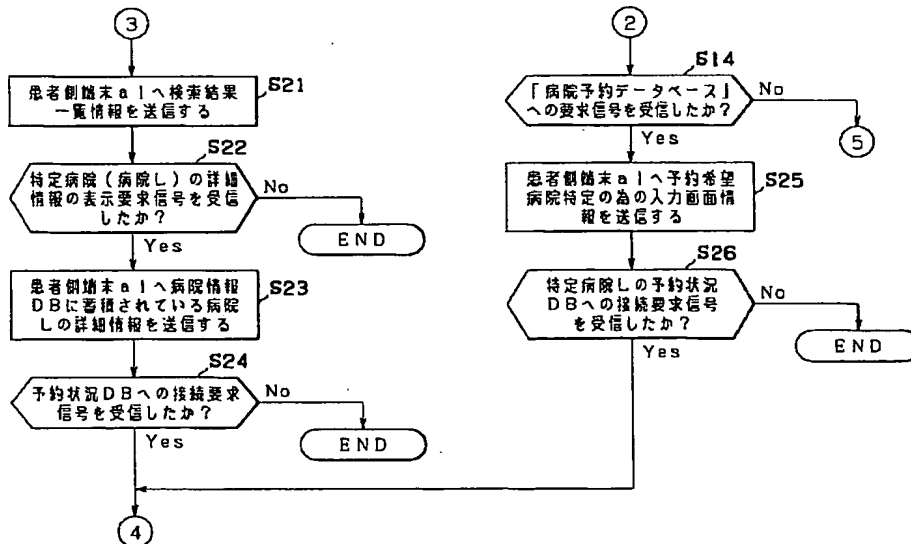
【図8】



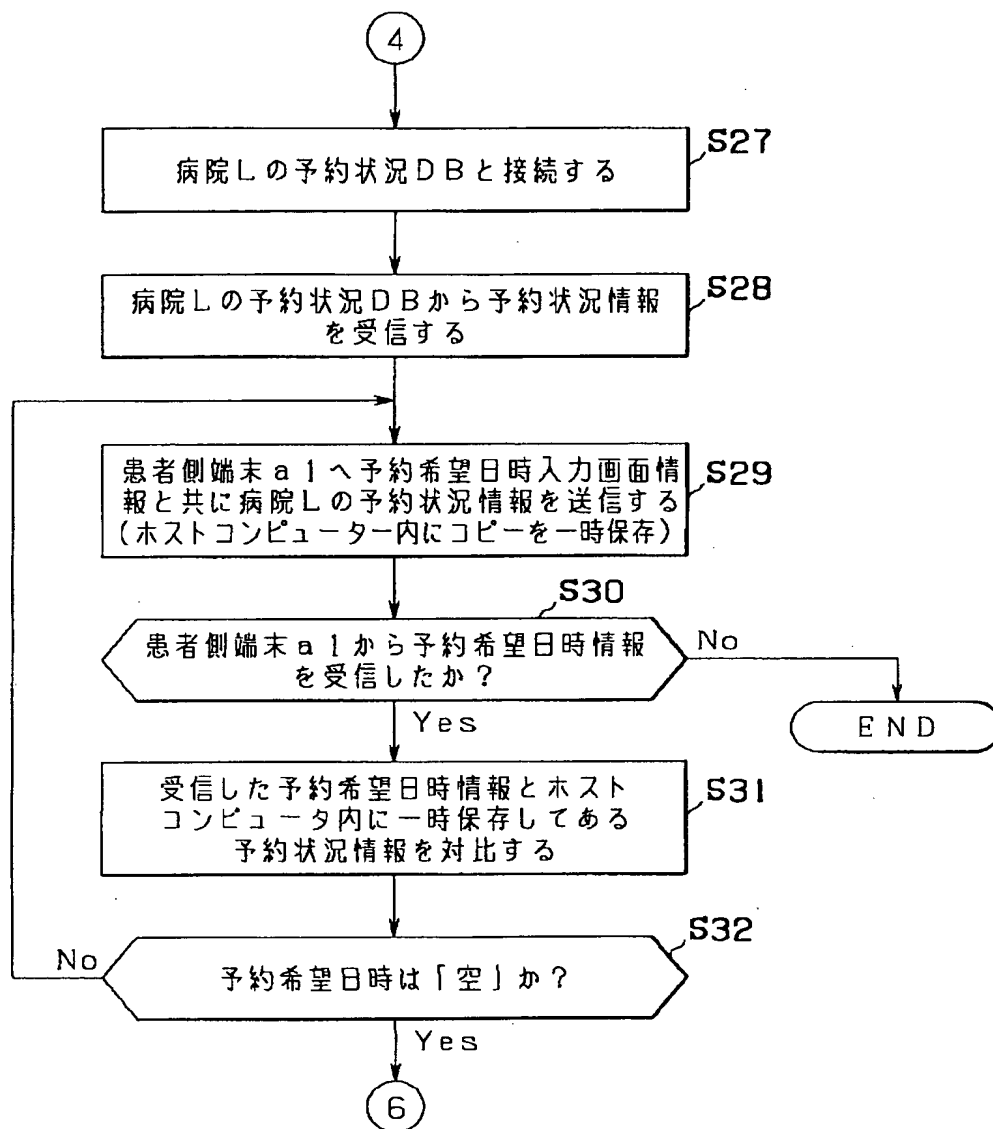
【図12】



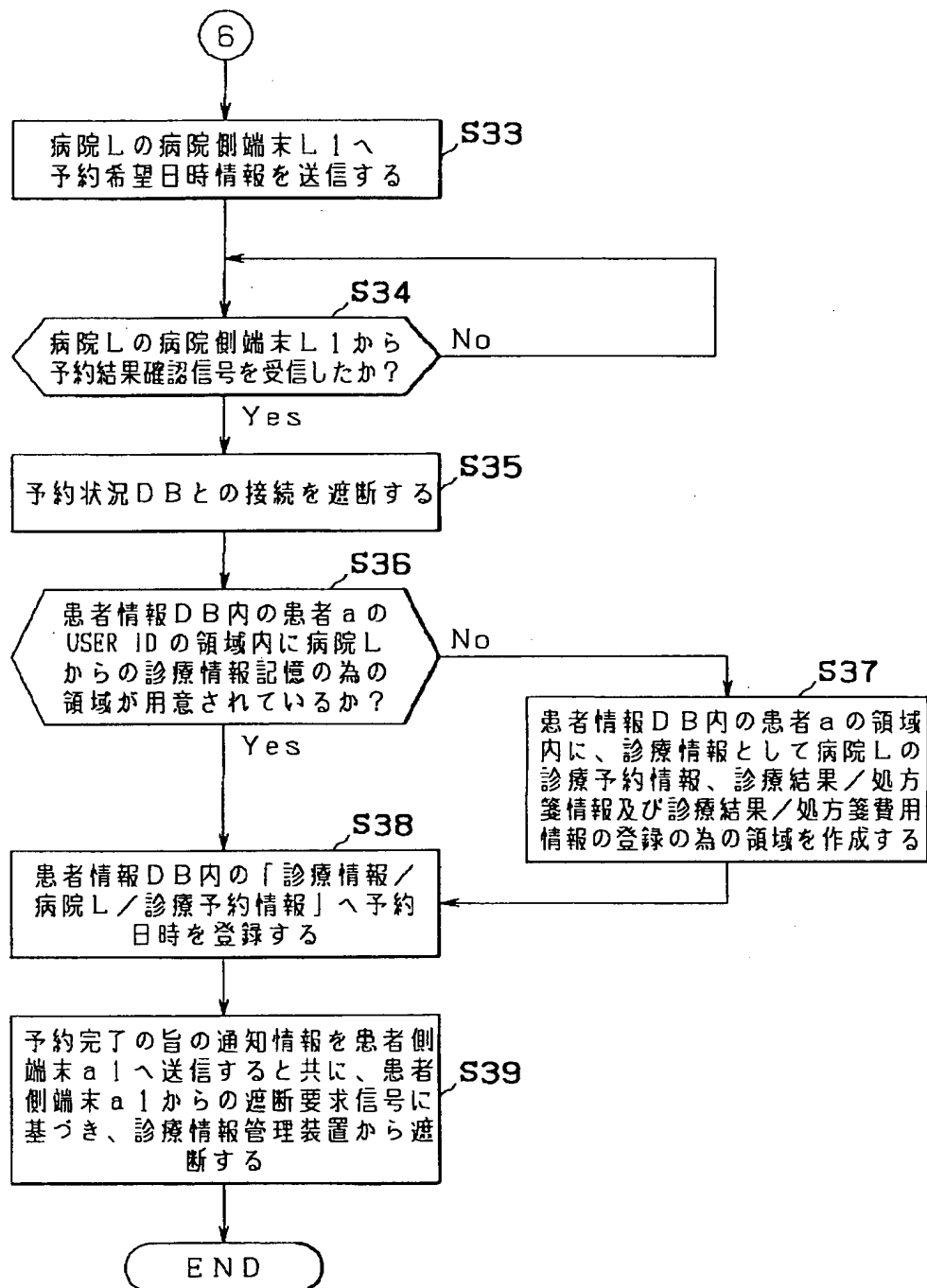
【図9】



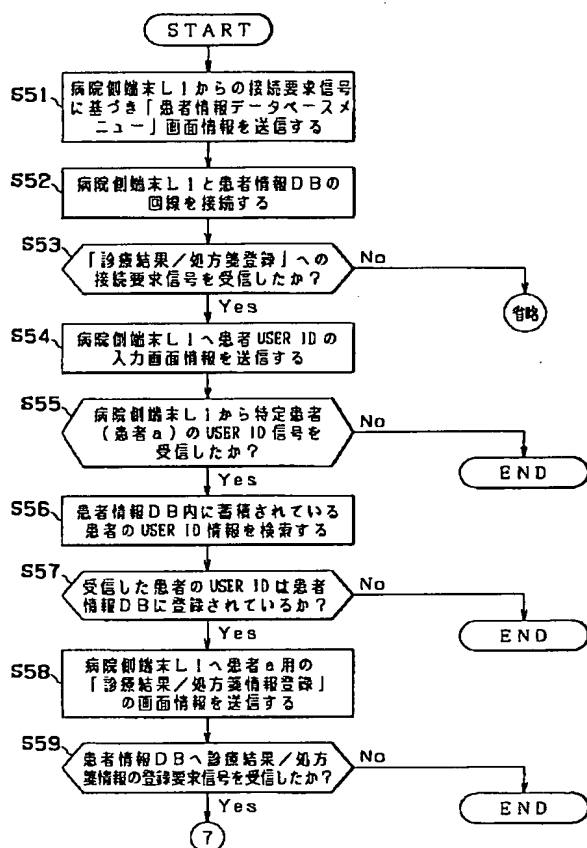
【図10】



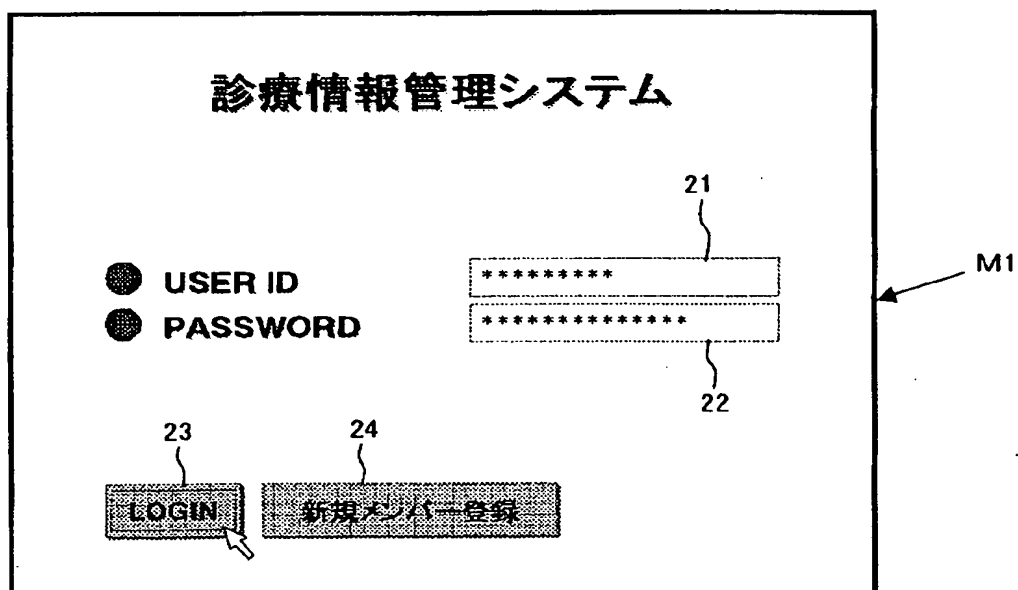
【図11】



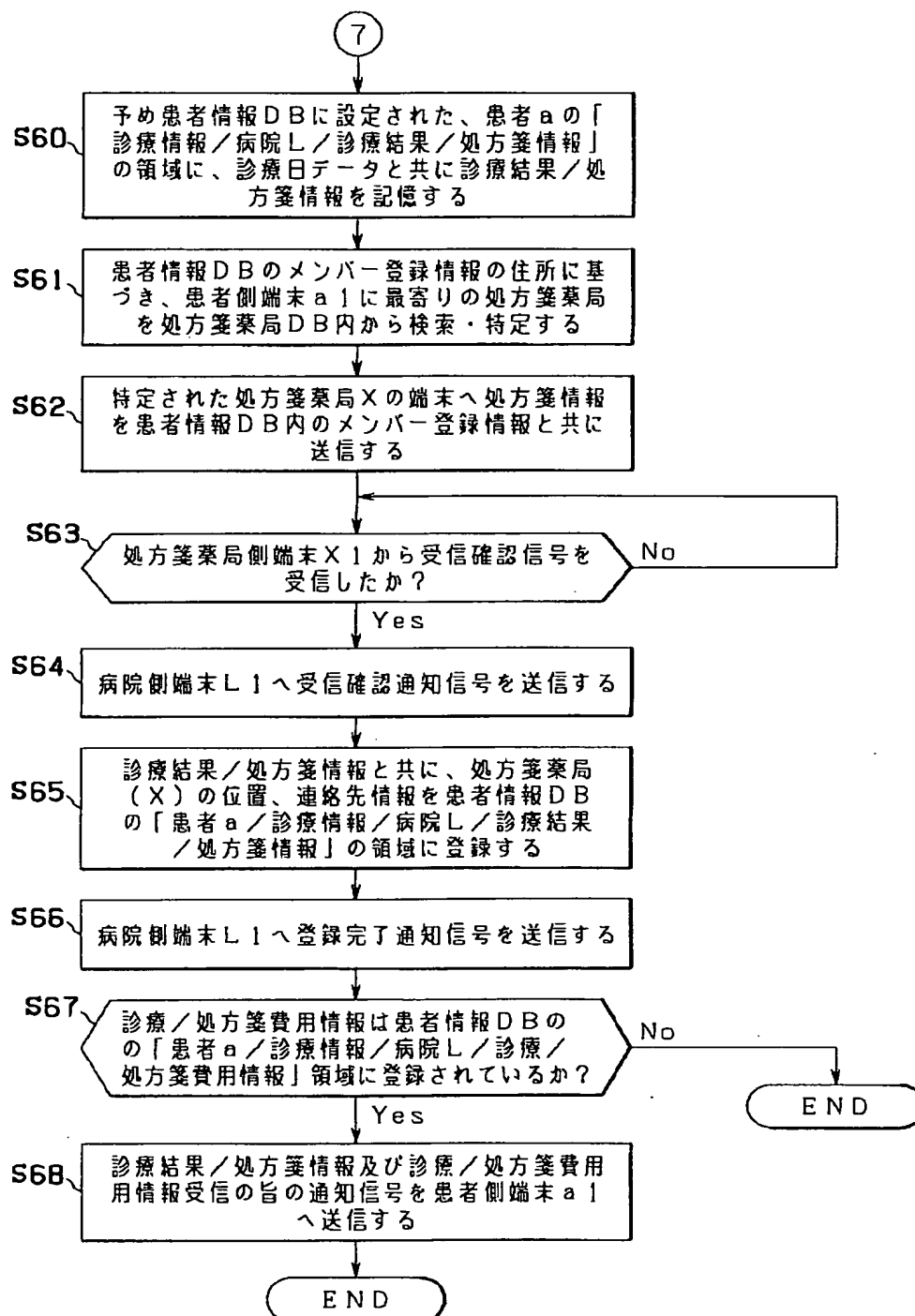
【図13】



【図18】

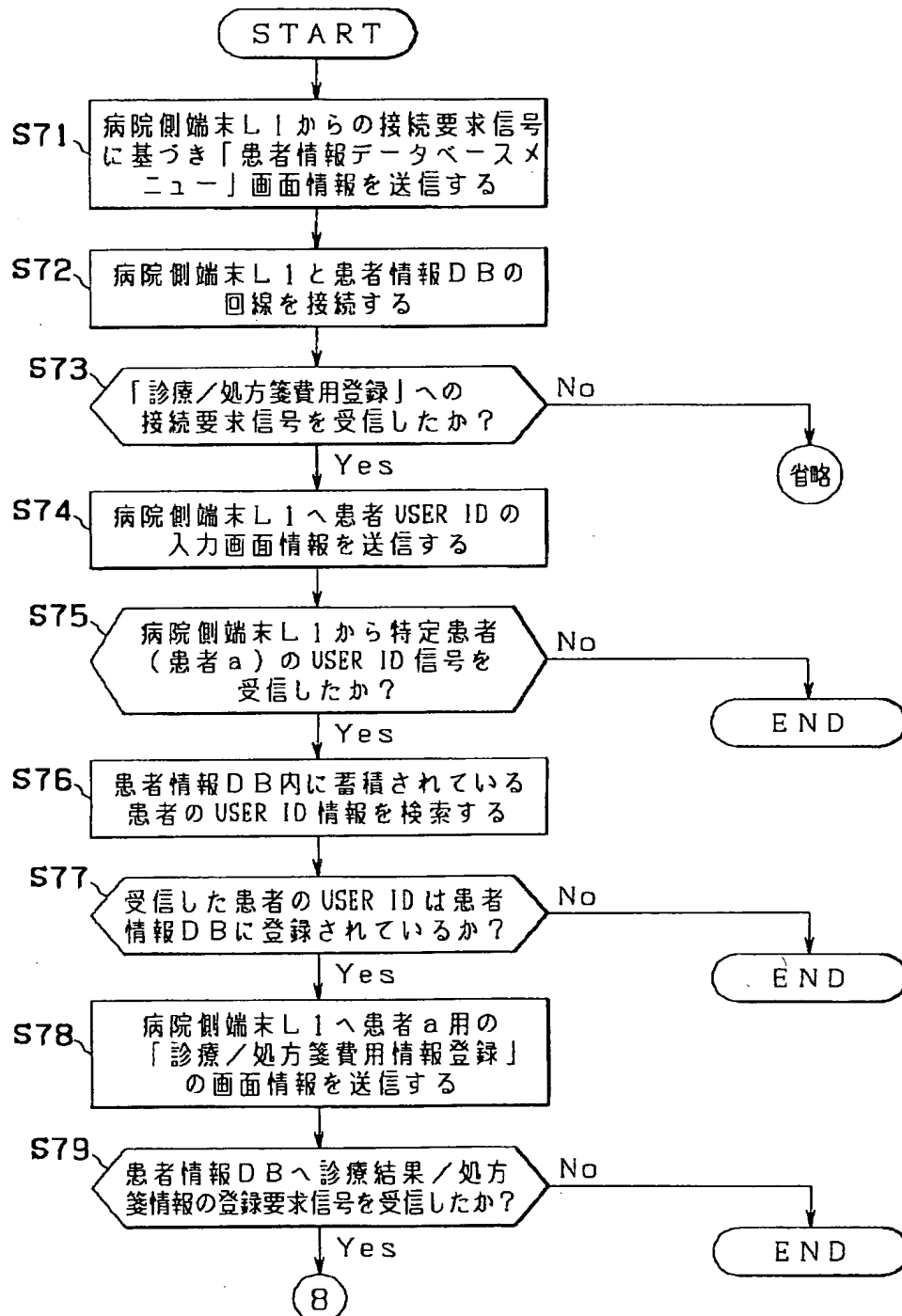


【図14】

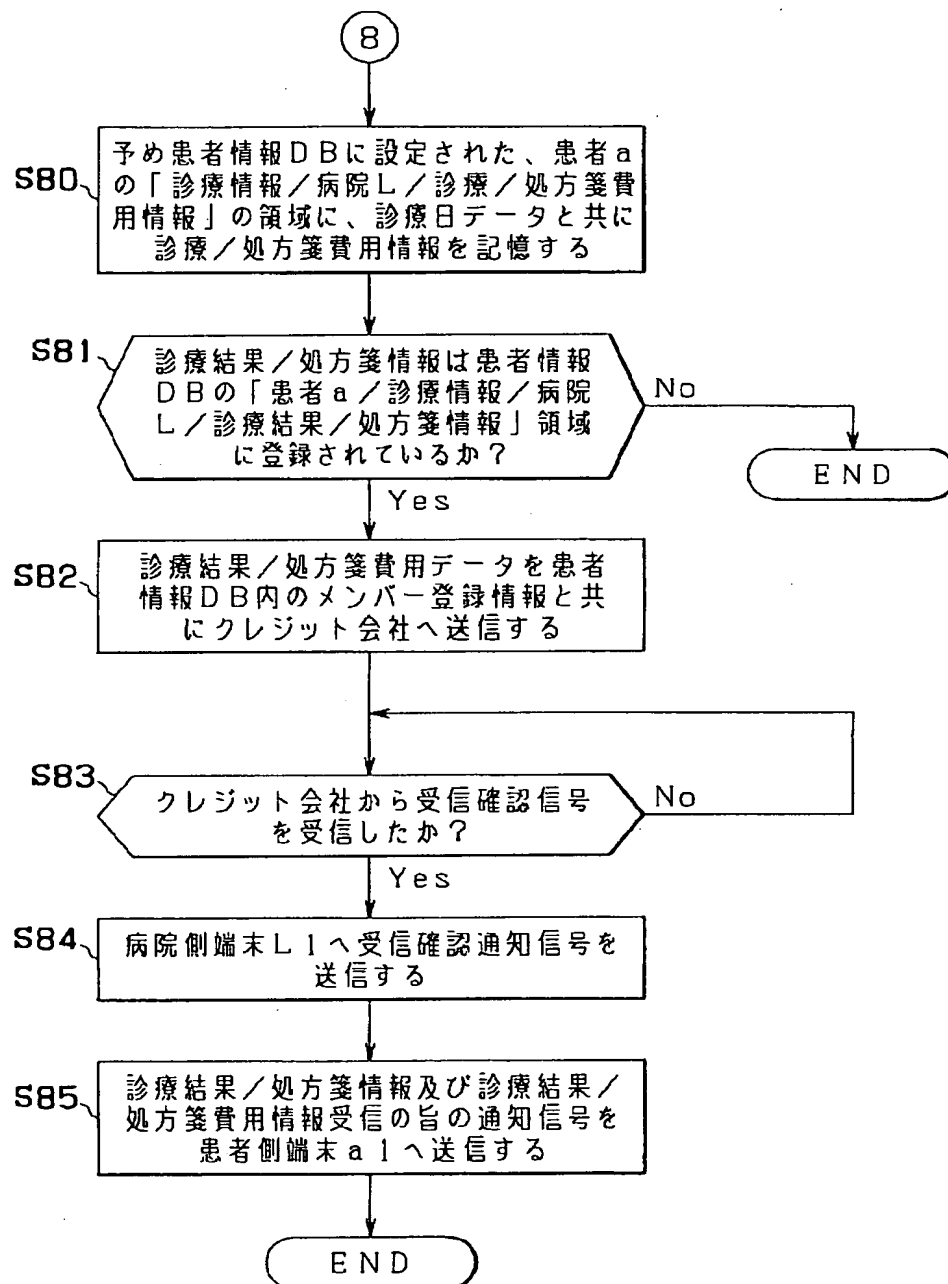




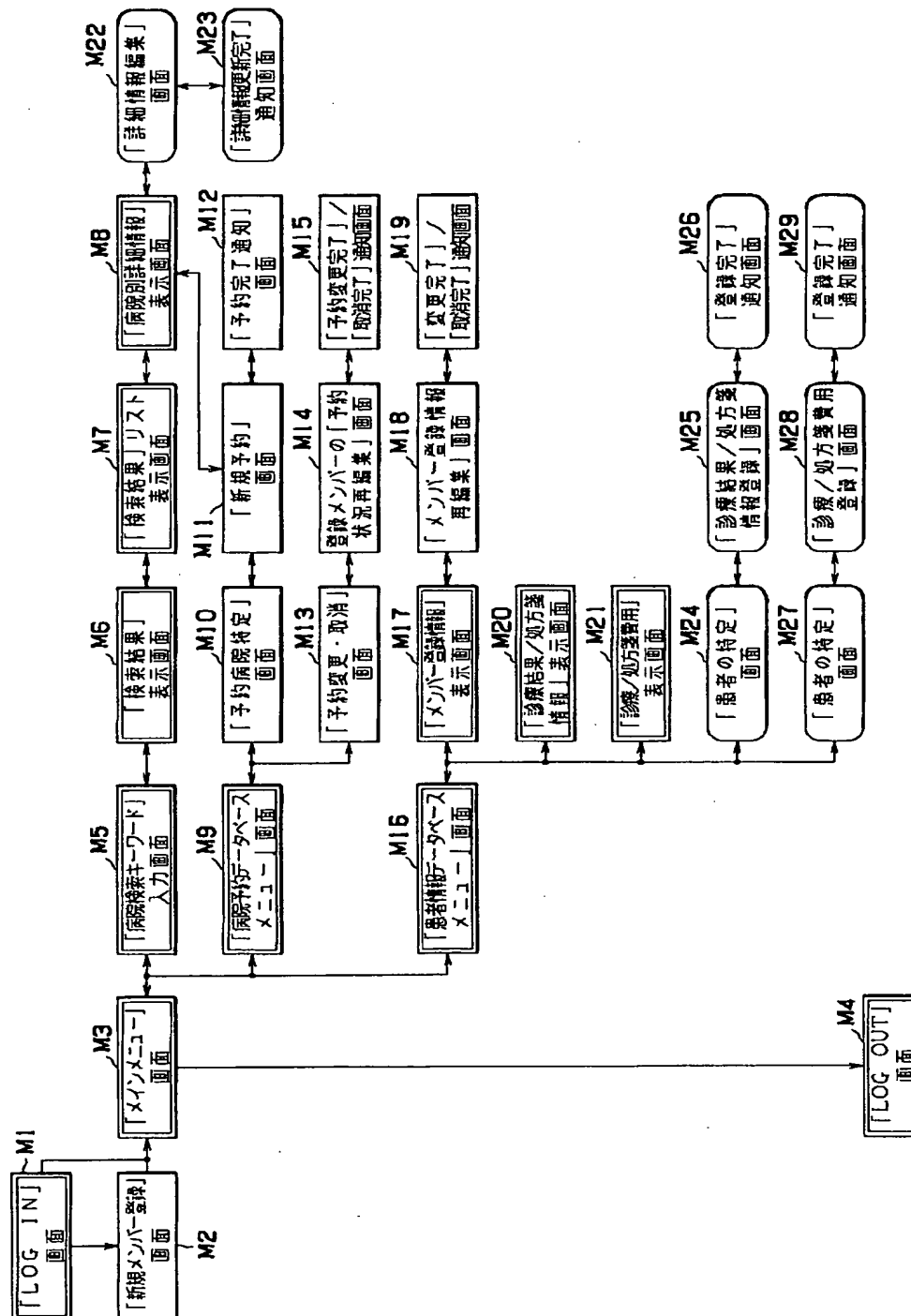
【図15】



【図16】



【図17】



【図19】

**新規メンバー登録(1)**

本人の情報を

① 名前(全角) 姓  名

② 性別(1.男性 2.女性)

③ 生年月日(半角)  年  月  日

④ 郵便番号(半角)  -  -

⑤ 住所(全角) 都道府県市区町村   
 大字丁目番地ビル名   
 郵便番号等

⑥ 電話番号(半角)  -  -

⑦ メールアドレス(半角)

M2'

25

26 27

[戻る] [次へ]

【図20】

診療情報管理システム

**新規メンバー登録(2)**

加入保険の状況

① 保険の種類(1.国保 2.組合 3.政管 4.日雇 5.船員 6.共済)

② 被保険者記号-番号(半角)  -

③ 被保険者等氏名(全角) 姓  名

④ メンバー登録対象者との続柄(1.本人 2.夫 3.妻 4.子 ...)

⑤ 保険者名(全角)

⑥ 保険者番号(半角)

M2''

28

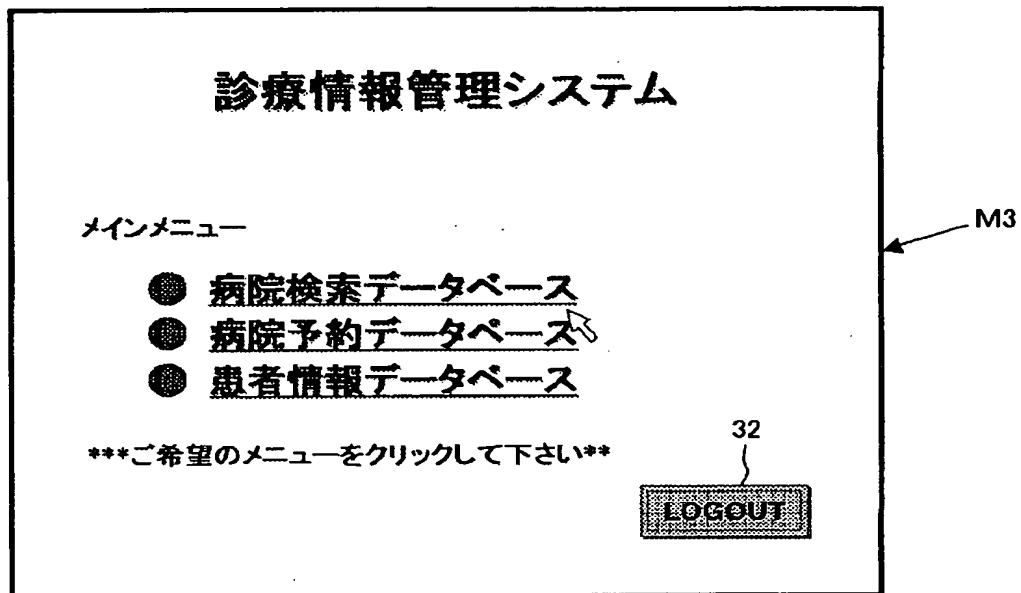
\*\*\*ご注意下さい\*\*\*

本登録は診療の際の健康保険証の提示に代るものではありません。  
 診療の際には健康保険証も必要ですのでご注意下さい。

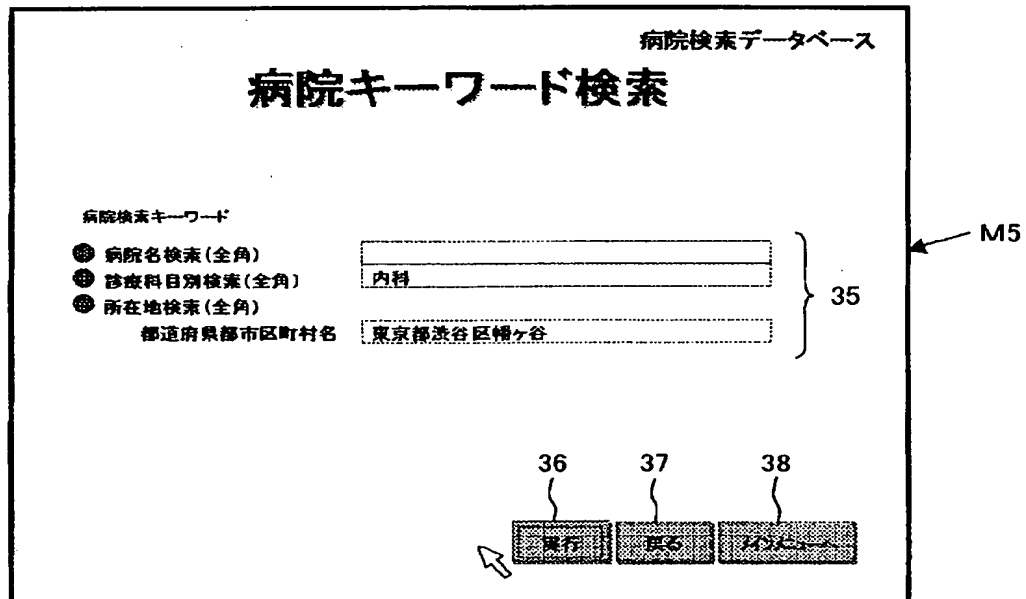
29 30 31

[完了] [戻る] [キャンセル]

【図21】



【図22】



【図23】

病院検索データベース

病院キーワード検索

病院検索キーワード

☒ 病院名検索(全角)

☒ 診療科目別検索(全角)

☒ 所在地検索(全角)

} 39

検索結果

検索の結果、 5 件ヒットしました。

リストを表示する場合には「表示」ボタンを押して下さい。

40 41 42  
表示 戻る リセット

M6

【図24】

病院検索データベース

病院キーワード検索

検索結果

病院名	所在地	電話番号	診療科目	診療時間	
1. 病院A	東京都渋谷区幡ヶ谷	03-3377-XXXX	内科 外科	9:00~11:30/13:00~18:00	...
2. 病院B	東京都渋谷区幡ヶ谷	03-3377-XXXX	内科	9:00~11:30/13:00~18:00	...
3. 病院C	東京都渋谷区幡ヶ谷	03-3377-XXXX	内科 小児科	9:00~11:30/13:00~18:00	...
4. 病院D	東京都渋谷区幡ヶ谷	03-3377-XXXX	内科	9:00~11:30/13:00~18:00	...
5. 病院E	東京都渋谷区幡ヶ谷	03-3377-XXXX	内科	9:00~11:30/13:00~18:00	...

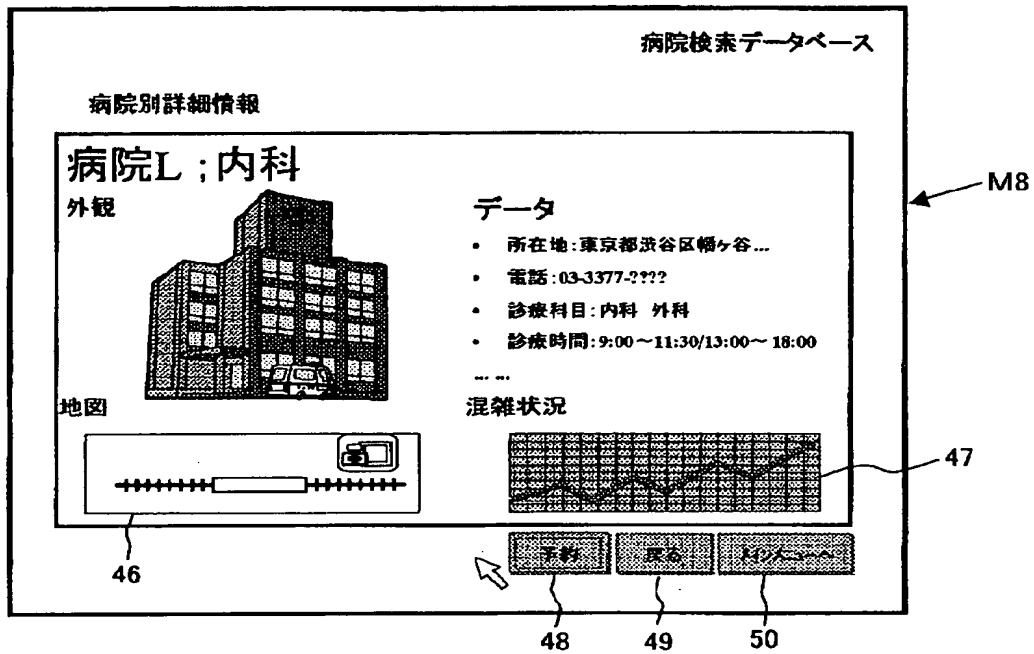
病院名をクリックすると詳細情報が表示されます。

また、オンライン予約もできます。

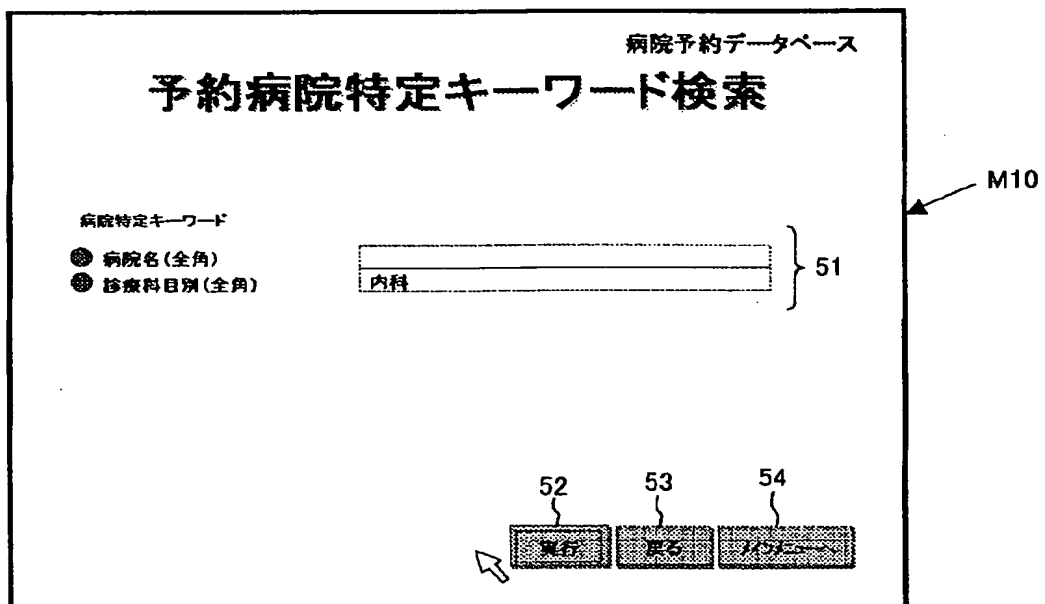
44 45  
表示 リセット

M7

【図25】



【図26】



【図27】

病院予約データベース

新規予約

病院L ; 内科

予約状況情報

	①9:00-10:00	②10:00-11:30	③11:30-14:00	④14:00-15:00	⑤15:00-16:00	⑥16:00-17:00	⑦17:00-18:00	
7/3(Mon)	満	空	空	空	空	満	満	▲
7/4(Tue)	満	満	空	空	空	満	満	
7/5(Wed)	満	満	空	空	空	満	満	
7/6(Thu)	満	満	満	満	満	満	満	
7/7(Fri)	満	満	満	満	満	満	満	
7/8(Sat)	満	満	満	満	満	満	満	
7/9(Sun)	—	—	—	—	—	—	—	▼

予約希望日時(希望日・時間帯を入力し、送信ボタンを押して下さい。)

年  月  日

56

M11

55

【図28】

病院予約データベース

新規予約

病院L ; 内科

予約状況情報

	①9:00-10:00	②10:00-11:30	③11:30-14:00	④14:00-15:00	⑤15:00-16:00	⑥16:00-17:00	⑦17:00-18:00	
7/3(Mon)	満	空	空	空	空	満	満	▲
7/4(Tue)	満	満	空	空	空	満	満	
7/5(Wed)	満	満	空	空	空	満	満	
7/6(Thu)	満	満	満	満	満	満	満	
7/7(Fri)	満	満	満	満	満	満	満	
7/8(Sat)	満	満	満	満	満	満	満	
7/9(Sun)	—	—	—	—	—	—	—	▼

予約完了通知

A病院:内科 を、 7/6 (Thu)13:00-14:00 にて予約完了致しました。

M12

60

61



【図29】

患者情報データベース

## 診療結果/処方箋情報登録

患者の特定

● 患者のUSER ID(半角) \*\*\*\*\* 65

戻る 保存 キャンセル

M24

【図30】

患者情報データベース

## 診療結果/処方箋情報登録

患者情報 (USER ID: \*\*\*\*\*)

● 名前(全角) 姓 山田 名 太郎

● 性別(1.男性 2.女性) 1

● 生年月日(半角) 1970 年 2 月 20 日

● 郵便番号(半角) 123 - 1234

● 住所(全角) 東京都渋谷区幡ヶ谷  
大字丁目番地ビル名 〇丁目△番□号

診療結果/処方箋情報入力欄 2000年07月06日

▲
▼

戻る 保存 キャンセル

M25

72      73      74

【図 3 1】

患者情報データベース M28

### 診療/処方箋費用登録

**患者情報 (USER ID: \*\*\*\*\*)**

- ① 名前(全角) 姓 山田 名 太郎
- ② 性別(1.男性 2.女性) 1
- ③ 生年月日(半角) 1970 年 2 月 20 日
- ④ 郵便番号(半角) 123 - 1234
- ⑤ 住所(全角) 都道府県都市区町村 東京都渋谷区幡ヶ谷  
大字丁目番地ビル名 OTC目△薬口号

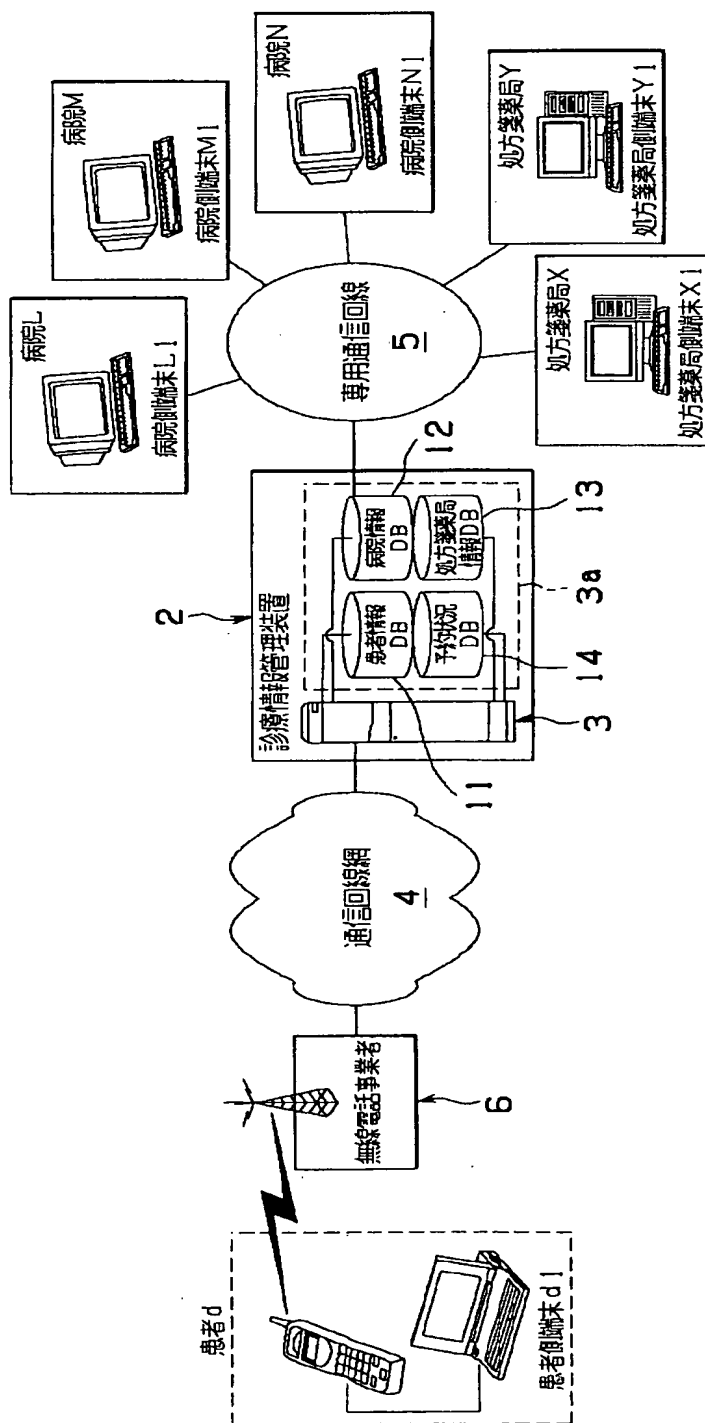
---

**診療/処方箋費用** 2000年07月06日

完了
戻る
印刷

77      78      79

【図32】



【図33】

